

# 清須市はるひ美術館 年報

---

2013 年度

## 目 次

### 1 沿革・概要

- (1) 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 概要・・ 2

### 2 展覧会

#### (1) 特別展

- リサとガスパール&ペネロペ展  
ーゲオルグ・ハレンスレーベンとアン・グットマンの世界ー・・・・・・・・ 4

#### (2) 企画展

- ① 清須ゆかりの作家 加藤正音展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ② 歌舞伎 | 変身・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ③ 清須市はるひ絵画トリエンナーレ  
アーティストシリーズ Vol.71 源馬菜穂展・・・・・・・・・・・・ 24  
アーティストシリーズ Vol.72 栗原光展・・・・・・・・・・・・ 25  
アーティストシリーズ Vol.73 打田宗平展・・・・・・・・・・・・ 27

#### (3) 収蔵作品展

- ① 清須市はるひ美術館 収蔵作品展「自然を描く」・・・・・・・・ 29
- ② 清須市はるひ美術館 収蔵作品展「緑を想う」・・・・・・・・ 31

#### (4) 貸ギャラリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

#### (5) その他展示

- ① 第1回清須市4中学校美術部 小さなアーティストたち・・・・・・・・ 35
- ② 第5回友好姉妹提携都市  
清須市・ヘレス市子ども絵画交換事業 子ども絵画展・・・・・・・・ 36

### 3 利用状況

- (1) 年間展示スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
- (2) 平成25年度入館者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- (3) 展覧会別入館者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- (4) 開館以来の入館者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

4	教育普及活動	
(1)	サタデーキッズクラブ 清須キッズアートラボ	4 1
(2)	大人のためのアートスクール 清須アートラボ	4 2
(3)	清須アートサポーター	4 5
(4)	館長アートトーク	4 7
(5)	博物館実習	4 9
5	美術資料等の収集	5 0
6	組織	5 2
7	清須市夢広場はるひの設置及び管理に関する条例	5 3
8	清須市はるひ美術館管理規則	5 8
9	清須絵画トリエンナーレ実行委員会設置要綱	6 2

## 1 沿革・概要

### (1) 沿革

- 平成 3 (1991) 年 夢の森公園 (夢広場はるひ) 用地取得  
基本設計及び実施設計
- 平成 8 (1996) 年 「魅力ある愛知づくり事業」に選定される
- 平成 9 (1997) 年 工事着手
- 平成 11 (1999) 年 4月3日「はるひ美術館」開館  
公募展「第1回夢広場はるひ絵画展」開催
- 平成 13 (2001) 年 公募展「第2回夢広場はるひ絵画ビエンナーレ」開催
- 平成 14 (2002) 年 現代京都画壇による「源氏物語絵展」開催
- 平成 15 (2003) 年 公募展「第3回夢広場はるひ絵画ビエンナーレ」開催
- 平成 16 (2004) 年 開館5周年記念特別企画「嶋谷自然展」開催
- 平成 17 (2005) 年 公募展「第4回夢広場はるひ絵画ビエンナーレ」開催
- 平成 19 (2007) 年 公募展「第5回夢広場はるひ絵画ビエンナーレ」開催  
「丹羽有芳と師友展」開催
- 平成 21 (2009) 年 公募展「第6回はるひ絵画トリエンナーレ」開催  
「キタイギタイひびのこづえ展-生きもののかたち 服のかたち-」開催  
10月1日清須市と合併、名称を「清須市はるひ美術館」と変更
- 平成 22 (2010) 年 郷土の画人「丹羽有芳展」開催  
清須越四百年関連事業 「スペインの巨匠 ミロ展」開催
- 平成 23 (2011) 年 特別展「童画家 武井武雄 創造のおもちゃ箱」開催
- 平成 24 (2012) 年 公募展「清須市第7回はるひ絵画トリエンナーレ」開催  
4月1日、指定管理者制度導入により中日新聞・TRC・名古屋三越  
グループ共同事業体による運営となる  
特別展「清須市誕生7周年 渡辺おさむ お菓子の美術館」開催
- 平成 25 (2013) 年 特別展「リサとガスパール&ペネロペ展 ゲオルグ・ハレンスレー  
ベンとアン・グットマンの世界」開催

## (2) 概要

施設名 清須市はるひ美術館  
所在地 愛知県清須市春日夢の森1番地  
TEL (052) 401-3881  
FAX (052) 408-2791  
URL <http://www.museum-kiyosu.jp/>

開館時間 午前10時～午後7時（入館は午後6時30分まで）  
休館日 月曜日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）  
ただし、月曜日が祝日の場合は、翌平日が休館  
その他、美術館の施設、設備の保守点検、展示替えなどのため  
臨時に休館する場合があります。

建築面積=598.06 m<sup>2</sup>

延床面積=748.52 m<sup>2</sup>

展示室1	展示室2	オープン展示スペース
床面積=50.86 m <sup>2</sup> 壁面長=30.26 m 天井高=4.30m ビ°クチャーレル=17.35m ビ°クチャーレル高=2.50m 展示パネル高=2.87m 展示ケース内幅=3.00 m 床=タイルカーペット	床面積=160.34 m <sup>2</sup> 壁面長=60.36m 天井高=3.5～4.8m ※移動壁あり ビ°クチャーレル=60.16m ビ°クチャーレル高=2.50m — — 床=フローリング	床面積=136.48 m <sup>2</sup> — — — — — —

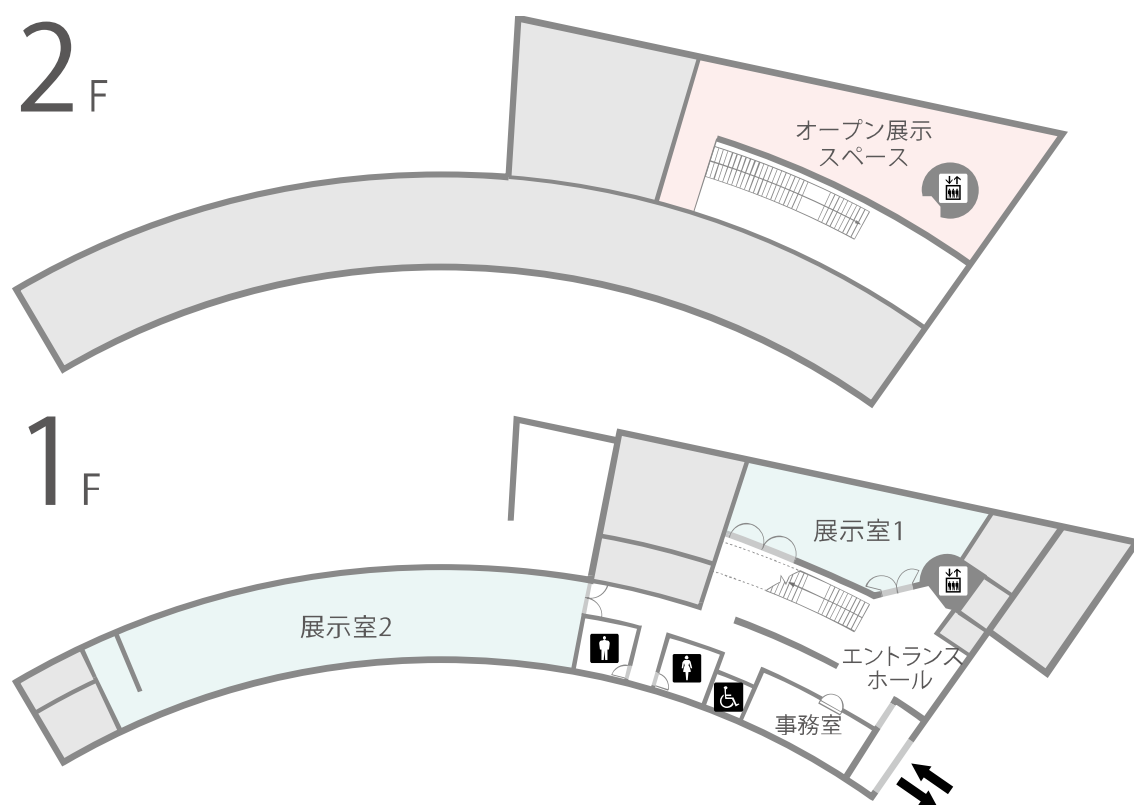
各展示室

壁面構造=軽量鉄骨下地+合板 9mm+フ°ラスターボード° 12.5mm ペンキ仕上げ

照明=ハロゲンビームランプ 展示室内無紫外線蛍光灯

温湿度調整=エアハンドリングユニット+ファンコイルユニット+空気清浄剤

平面図



## 2 展覧会

### (1) 特別展

リサとガスパール&ペネロペ展 ゲオルグ・ハレンスレーベンとアン・グットマンの世界



- 会 期：2013年7月6日（土）～9月29日（日）
- 会 場：展示室1、展示室2、オープン展示スペース
- 開館時間：午前10時～午後7時（入館は午後6時30分まで）
- 観 覧 料：一般 800円(700円) 高大生 700円(600円) 中学生以下無料  
（ ）内は前売券及び20名以上の団体料金  
※前売券はローソン・ミニストップ(Lコード:48769)で販売（～9/29）  
各種障害者手帳提示者及び付添人1名は無料  
市民割 一般 500円 高大生 500円  
清須市立図書館 貸出利用カード提示者は当日料金より各50円引  
チラシ下部の割引券利用で当日料金より各50円引  
インターネット割引（プリント及び液晶画面提示者）は当日料金より各50円引
- 主 催：清須市はるひ美術館、中日新聞社
- 後 援：愛知県、愛知県教育委員会
- 協 力：Hachette Livre、Gallimard Jeunesse、ブロンズ新社、岩崎書店、  
日本アニメーション、ソニー・クリエイティブプロダクツ、  
白泉社(月刊MOE)、名古屋三越
- 企画制作：渋谷出版企画
- 出品点数：100点
- 入館者数：10,184人（75日間、※福祉観覧デー1日を含む）
- 担当学芸員：喜田 早菜江

絵本シリーズ「リサとガスパール」と「ペネロペ」は、フランスに住む、画家ゲオルグ・ハレンスレーベンと作家アン・グットマン夫妻によって生み出されました。子どものちょっとしたしぐさや愛らしい失敗をユーモアたっぷりに、色鮮やかに描き出します。

好奇心いっぱいでおしゃまな女の子リサ、おっちょこちょいでやさしい男の子ガスパール。この犬でもウサギでもない二人の主人公が繰り広げる日常の大冒険を描いた「リサとガスパール」シリーズは、2000年に翻訳が出版されて以来、日本でもすっかりおなじみとなりました。また、うっかりやさんの青いコアラの女の子が主人公の絵本「ペネロペ」シリーズも、アニメーションが放送され、またたくまに子どもたちの間で人気となっています。

本展では、「リサとガスパール」と「ペネロペ」の原画約100点を中心に、絵本の制作過程がうかがえるスケッチなども展示し、原画でしか味わえない色の深い重なりや生き生きとした筆の動きなど、魅力たっぷりの絵本の世界を堪能して頂きました。

#### 関連イベント

##### 【オープニングセレモニー】

日 時：7月6日（土）午前10時～

・リサとガスパールぬりえの表彰式

表 彰：園児20人（グランプリ2人、準グランプリ6人、優秀賞12人）

##### 【リサとガスパール撮影会 いっしょに写真をとろう！】

日 時：7月6日（土）・15日（月・祝）・8月3日（土）・11日（日）・25日（日）  
9月8日（日）・21日（土）

各日午前11時～／午後1時30分～／午後3時～

（30分前から整理券配布）

※7月15日（月・祝）、8月3日（土）、9月8日（日）は下記のみ開催  
各日午後1時30分～／午後3時～

場 所：オープン展示スペース

参 加 費：無料（ただし本展観覧券が必要）

参加者数：各回20組

##### 【「みんなあつまれ!!リサとガスパールが美術館にやってくる」】

日 時：①7月15日（月・祝）、②8月3日（土）、③9月8日（日）  
各日午前11時～（30分前から整理券配布）

参 加 費：無料（ただし本展観覧券が必要）

参加者数：①110人、②90人、③120人



**【ワークショップ「3コマ絵本を作ろう」】**

日 時：①8月4日（日）、②10日（土）各回午前10時30分～正午  
場 所：オープン展示スペース  
対 象：小学3年生以上  
材 料 費：無料（ただし本展観覧券が必要）  
申 込：往復はがきに参加希望者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望  
日を明記の上、①7月21日（日）、②7月27日（土）必着で申込  
参加者数：各回15人

**【スペシャルトーク「親子で楽しむ絵本の魅力」】**

日 時：9月16日（月・祝）午後2時～3時30分  
場 所：清須市立図書館 研修室  
参 加 費：無料  
講 師：三輪 哲（株式会社メルヘンハウス代表取締役社長）  
参加者数：20人

その他

**【お楽しみコーナー】**

- ①ぬりえコーナー
- ②おりがみコーナー
- ③絵本コーナー
- ④撮影コーナー
- ⑤映像コーナー

日 時：会期中  
場 所：オープン展示スペース

**【特設ミュージアムショップの開設】**

日 時：会期中  
場 所：エントランス横から階段横にかけて、商品を陳列。

**【図書館との連携「リサとガスパール」「ペネロペ」ぬりえの掲示】**

日 時：会期中  
場 所：清須市立図書館

## 出品目録

NO.	タイトル	ページ	原著出版年	技法
1	ガスパール ヴェニスに行く (未訳)	6-7	1999	油彩
2	ガスパール ヴェニスに行く (未訳)	8-9	1999	油彩
3	ガスパール ヴェニスに行く (未訳)	18-19	1999	油彩
4	リサ ひこうきにのる	4-5 (タイトルページ)	1999	油彩
5	リサ ひこうきにのる	6-7	1999	油彩
6	リサ ひこうきにのる	22-23	1999	油彩
7	リサ ひこうきにのる	28	1999	油彩
8	リサのおうち	表紙	1999	油彩
9	リサのおうち	16-17	1999	油彩
10	リサのおうち	24-25	1999	油彩
11	ガスパール びょういんへいく	表紙	1999	油彩
12	ガスパール びょういんへいく	10-11	1999	油彩
13	ガスパール びょういんへいく	15	1999	油彩
14	ガスパール びょういんへいく	28-29	1999	油彩
15	ガスパール うみへいく	12-13	2000	油彩
16	ガスパール うみへいく	18-19	2000	油彩
17	ガスパール うみへいく	28-29	2000	油彩
18	リサとガスパールのローラーブレード	10	2000	油彩
19	リサとガスパールのローラーブレード	22-23	2000	油彩
20	リサとガスパールのローラーブレード	30-31 (後ろ見返し)	2000	油彩
21	リサのいもうと	14-15	2001	油彩
22	リサのいもうと	20 (2)	2001	油彩
23	リサのいもうと	21	2001	油彩
24	リサとガスパールのであい	18	2001	アクリル
25	リサとガスパールのであい	26-27	2001	アクリル
26	リサとガスパールのであい	28-29	2001	アクリル
27	リサ れっしゃにのる	6-7	2003	アクリル
28	リサ れっしゃにのる	12-13	2003	アクリル
29	リサ れっしゃにのる	22-23	2003	アクリル
30	リサとガスパール にほんへいく	2-3 (前見返し)	2006	油彩
31	リサとガスパール にほんへいく	14-15	2006	油彩
32	リサとガスパール にほんへいく	16-17	2006	油彩

NO.	タイトル	ページ	原著出版年	技法
33	リサとガスパール にほんへいく	22-23	2006	油彩
34	リサ かぜをひく	2-3 (前見返し)	2004	アクリル
35	リサ かぜをひく	19	2004	アクリル
36	リサ かぜをひく	20-21	2004	アクリル
37	リサ かぜをひく	22	2004	アクリル
38	リサ かぜをひく	24-25	2004	アクリル
39	リサとガスパールのレストラン	表紙	2004	油彩
40	リサとガスパールのレストラン	2-3 (前見返し)	2004	油彩
41	リサとガスパールのレストラン	23	2004	油彩
42	リサとガスパールのレストラン	24-25	2004	油彩
43	リサ ママへプレゼント	4-5 (タイトルページ)	2005	油彩
44	リサ ママへプレゼント	8-9	2005	油彩
45	リサ ママへプレゼント	15(1)	2005	油彩
46	リサ ママへプレゼント	15(2)	2005	油彩
47	リサ ママへプレゼント	18-19	2005	油彩
48	リサのすてきなスカーフ	2-3 (前見返し)	2005	油彩
49	リサのすてきなスカーフ	12-13	2005	油彩
50	リサのすてきなスカーフ	14-15	2005	油彩
51	リサのすてきなスカーフ	27	2005	油彩
52	リサとガスパールのピクニック	表紙	2006	油彩
53	リサとガスパールのピクニック	2-3 (前見返し)	2006	油彩
54	リサとガスパールのピクニック	14-15	2006	油彩
55	リサとガスパールのピクニック	17	2006	油彩
56	リサとガスパールのピクニック	20-21	2006	油彩
57	リサとガスパール デパートのいちにち	表紙	2003	アクリル
58	リサとガスパール デパートのいちにち	14(1)	2003	アクリル
59	リサとガスパール デパートのいちにち	14(3)	2003	アクリル
60	リサとガスパール デパートのいちにち	20-21	2003	アクリル
61	リサとガスパールのちいさなともだち	6	2008	油彩
62	リサとガスパールのちいさなともだち	16	2008	油彩
63	リサとガスパールのちいさなともだち	22-23	2008	油彩
64	リサとガスパールのちいさなともだち	24-25	2008	油彩
65	リサとガスパールのちいさなともだち	26	2008	油彩
66	リサとガスパール えいがにいく	4-5 (タイトルページ)	2009	油彩

NO.	タイトル	ページ	原著出版年	技法
67	リサとガスパール えいがにいく	6	2009	油彩
68	リサとガスパール えいがにいく	14-15	2009	油彩
69	リサとガスパール えいがにいく	21	2009	油彩
70	リサとガスパール えいがにいく	30-31	2009	油彩
71	ペネロペ まきばへいく	表紙	2003	アクリル
72	ペネロペ まきばへいく	2-3	2003	アクリル
73	ペネロペ ようちえんへいく	4	2003	アクリル
74	ペネロペ ようちえんへいく	11	2003	アクリル
75	きょうはなにをするの、ペネロペ	6-7	2004	油彩
76	きょうはなにをするの、ペネロペ	18-19	2004	油彩
77	きょうはなにをするの、ペネロペ	22-23	2004	油彩
78	きょうはなにをするの、ペネロペ	28-29	2004	油彩
79	ペネロペ うみへいく	表紙	2004	油彩
80	ペネロペ うみへいく	6-7	2004	油彩
81	ペネロペ うみへいく	12-13	2004	油彩
82	ペネロペ うみへいく	28-29	2004	油彩
83	ペネロペのおかいもの	8-9	2005	油彩
84	ペネロペのおかいもの	12-13	2005	油彩
85	ペネロペのおかいもの	16-17	2005	油彩
86	ペネロペのおかいもの	18-19	2005	油彩
87	ペネロペ がずをかぞえる	8	2005	油彩
88	ペネロペ がずをかぞえる	15	2005	油彩
89	ペネロペ がずをかぞえる	19	2005	油彩
90	ペネロペ がずをかぞえる	23	2005	油彩
91	ペネロペのいちにち	表紙	2009	油彩
92	ペネロペのいちにち	8-9	2009	油彩
93	ペネロペのいちにち	14-15	2009	油彩
94	ペネロペのいちにち	24-25	2009	油彩
95	ペネロペのいちにち	28-29	2009	油彩
96	ペネロペ イースターエッグをさがす	表紙	2011	油彩
97	ペネロペ イースターエッグをさがす	6-7	2011	油彩
98	ペネロペ イースターエッグをさがす	16-17	2011	油彩
99	ペネロペ イースターエッグをさがす	22-23	2011	油彩
100	ペネロペ イースターエッグをさがす	26-27	2011	油彩

## (2) 企画展

### ① 清須ゆかりの作家 加藤正音展



- 会 期：2013年4月12日(金)～6月9日(日)
- 前期展示：2013年4月12日(金)～5月12日(日)
- 後期展示：2013年5月14日(火)～6月9日(日)
- 開館時間：午前10時～午後7時(入館は午後6時30分まで)
- 観覧料：一般 300円 団体 250円(20名以上) 市民割 200円  
中学生以下、各種障害者手帳提示者及び付添人1名は無料  
清須市立図書館 貸出利用カード提示者は 250円
- 会 場：展示室1、展示室2
- 主 催：清須市はるひ美術館、中日新聞社
- 後 援：白士会
- 出品点数：41点
- 入館者数：1,078人(51日間)
- 担当学芸員：喜田 早菜江

清須にゆかりのある作家を紹介するシリーズの第1弾として、清須市在住の日本画家、加藤正音を取り上げました。

加藤は1925(大正14)年に生まれ、中村岳陵、我妻碧宇に学び、日展への入選を経て、1961年、我妻碧宇らとともに白士会を結成しました。抽象画の実験的な作品を次々に発表し、旧来の枠にとらわれない自由な画風を追求します。その後は、芝居を愛し文楽や歌舞伎に取材した作品に精力的に取り組むかたわら、中日新聞に連載された歴史小説『尾張春風伝』等の挿絵を任されるなど、日本史に取材した画題でも高く評価されています。本展では、選りすぐりの代表作によって、加藤正音の画業をたどりました。

## 関連イベント

### 【開会式】

日 時：4月12日（金）午前9時30分～10時

## 関連企画

### 【作家トーク】

日 時：①4月27日（土）、②5月4日（土）各回午後2時～2時30分

場 所：展示室1、展示室2

申 込：予約不要

参加者数：①25人、②35人

### 【ミュージアムトーク】

日 時：5月5日（日）午後2時～3時

場 所：オープン展示スペース

参加者数：13人

講 師：田中博久

内 容：「江戸時代の清須と信長」についての講義

### 【ワークショップ「信長時代にタイムスリップ！」】

日 時：5月18日（土）午後1時30分～4時30分

対 象：どなたでも（ただし、小学4年生以下は保護者同伴）

参 加 費：300円（ただし本展観覧券が必要）

申 込：電話にて申込

参加者数：12人

協 力：清洲甲冑工房

内 容：戦国武将が使った「筋かぶと」を工作用紙で制作

## 出品目録

NO	タイトル	制作年	材質・形状	サイズ(cm)	所蔵先
1	幸鯛	1996	紙本着色	64.0×73.5(額外寸)	個人蔵
2	愛染道成寺	1971	紙本着色	224.8×350.4(三面)	愛知県美術館蔵
3	双面桜道成寺	1970	紙本着色	224.8×350.4(三面)	愛知県美術館蔵
4	日高川道成寺	1969	紙本着色	224.8×350.4(三面)	愛知県美術館蔵
5	絵本太功記 尼ヶ崎之段 十次郎思案 一	1981	紙本墨画 扇面	20.0×48.0	作家蔵
6	絵本太功記 尼ヶ崎之段 初菊哀情切 二	1981	紙本墨画 扇面	20.0×48.0	作家蔵
7	絵本太功記 尼ヶ崎之段 十次郎初陣 三	1981	紙本墨画 扇面	20.0×48.0	作家蔵
8	絵本太功記 尼ヶ崎之段 光秀現出月 四	1981	紙本墨画 扇面	20.0×48.0	作家蔵
9	絵本太功記 尼ヶ崎之段 操諫言恨涙 五	1981	紙本墨画 扇面	20.0×48.0	作家蔵
10	絵本太功記 尼ヶ崎之段 十次郎落入 六	1981	紙本墨画 扇面	20.0×48.0	作家蔵
11	絵本太功記 尼ヶ崎之段 光秀怒仰天 七	1981	紙本墨画 扇面	20.0×48.0	作家蔵
12	絵本太功記 尼ヶ崎之段 久吉残太功 八	1981	紙本墨画 扇面	20.0×48.0	作家蔵
13	舟おろし (A)	1961頃	紙本着色	96.0×141.0(額外寸)	作家蔵
14	舟おろし (B)	1961頃	紙本着色	96.0×141.0(額外寸)	作家蔵
15	揚巻玉三萬	1985	紙本着色	225.0×115.0	作家蔵
16	被褐懷玉	1975頃	紙本墨画	180.0×242.0(二面)(額外寸)	作家蔵
17	天下布武	1992	紙本着色	225.0×115.0	作家蔵
18	輪中の砦 一極楽浄土一	1991	紙本着色	225.0×115.0	作家蔵
19	輪中の砦 一地獄変相一	1990	紙本着色	225.0×115.0	作家蔵
20	信長 秀吉 家康 杜若	1992	紙本着色	169.0×103.5(額外寸)	作家蔵
21	輪中の砦 おぬい	1991	紙本着色	70.0×76.5(額外寸)	個人蔵
22	萬富士	1996	紙本着色	175.0×368.0	作家蔵
23	はかなき恋路鷺娘	1992	紙本着色	225.0×115.0	作家蔵
24	尾張春風伝 徳川宗春	1997	紙本着色	225.0×115.0	作家蔵
25	尾張春風伝 璃津	1998	紙本着色	225.0×115.0	作家蔵
26	京劇悟空粧	1979頃	紙本墨画	120.5×75.5(額外寸)	作家蔵
27	偲	1994	紙本着色	225.0×115.0	作家蔵

《前期のみ出品》

NO	タイトル	制作年	材質・形状	サイズ(cm)	所蔵先
28	おとことおんな 30	1966	紙本着色	225.0×115.0	作家蔵
29	凌霜隊秘史 葉菊の露・雪於	1984	紙本着色	225.0×115.0	作家蔵
30	薬師持統皇縁起	2001 頃	紙本着色	225.0×115.0	作家蔵
31	壬申の乱	1989	紙本着色	181.0×408.0	作家蔵
32	黄山天都峰正歌	2003	紙本着色	115.0×225.0	作家蔵
33	尾張春風伝 壱	1997 頃	紙本着色	175.0×368.0	作家蔵
34	天	1999	紙本墨画	115.0×225.0	作家蔵

《後期のみ出品》

NO	タイトル	制作年	材質・形状	サイズ(cm)	所蔵先
35	舟おろし (C)	1961 頃	紙本着色	96.0×141.0(額外寸)	作家蔵
36	道行葉菊之露月	1984 頃	紙本着色	120.0×83.0(額外寸)	作家蔵
37	倭建	1986	紙本着色	225.0×115.0	作家蔵
38	壬申の乱 上之巻	2000 頃	紙本墨画	175.0×368.0	作家蔵
39	富士は静かになったか	1995	紙本着色	115.0×225.0	作家蔵
40	尾張春風伝 参	1999 頃	紙本着色	175.0×368.0	作家蔵
41	春興鏡獅子	1978 頃	紙本墨画	225.0×115.0	作家蔵



## ② 企画展 歌舞伎 | 変身



- 会 期：2013年10月8日（火）～12月1日（日）
  - 前期展示：2013年10月8日（火）～11月4日（月・祝）
  - 後期展示：2013年11月6日（水）～12月1日（日）
- 開館時間：午前10時～午後7時（入館は午後6時30分まで）
- 観覧料：一般 600円 前売券及び20名以上の団体 550円
  - ※前売券はローソン・ミニストップ(Lコード:42924)で販売(～10/7)
  - 中学生以下、各種障害者手帳提示者及び付添人1名は無料
  - 市民割 500円
  - 清須市立図書館 貸出利用カード提示者は 550円
  - インターネット割引(プリント及び液晶画面提示者)は 550円
  - 着物割引(着物着用) 450円
  - リピーター割引(チケットの半券提示) 300円
- 会 場：展示室1、展示室2、オープン展示スペース
- 主 催：清須市はるひ美術館、中日新聞社
- 後 援：愛知県、愛知県教育委員会
- 協 力：株式会社御園座、株式会社名古屋三越
- 監 修：安田文吉、安田徳子
- 出品点数：94点
- 入館者数：1,311人(48日間)
- 担当学芸員：野中 祐美子

本展は、歌舞伎にみられる特徴のひとつ「変身」というテーマに着目し、歌舞伎における「変身」を役者が役に扮する状態、ひとつの演目のなかで複数の役が変わる状態、人間以外の生き物に変化する状態という3つの視点でとらえました。

歌舞伎が誕生した当時において「変身」は、ユーモアや夢そして願望であり、また一方で人間の憎悪や悲嘆の現れでもありました。歌舞伎の衣裳や鬘、錦絵、屏風、道具類の展示をはじめ、隈取りのワークショップや長唄三味線ライブ等の関連イベントをとおして、歌舞伎における「変身」について考え、歌舞伎の面白さの一端にふれていただきました。

#### 関連イベント

##### 【トークイベント「文さんの歌舞伎談議：歌舞伎界のホープ中村兎太郎と語る女形の魅力」】

内 容：錦秋名古屋顔見世（御園座）に出演中の役者中村兎太郎さんと安田文吉先生による対談

日 時：10月13日（日）午前11時～正午

場 所：清須市立図書館 研修室

参加費：無料（ただし本展観覧券が必要）

申 込：電話、FAX、メール、美術館窓口のいずれかで、①トークイベント②参加希望人数（3人まで）③代表者の氏名、電話番号を明記の上申込

講 師：安田文吉（南山大学教授）、中村兎太郎（歌舞伎役者）

参加者数：89人（先着100人まで、応募総数115人）

##### 【レクチャー「大向こうって何だろう?!」】

内 容：歌舞伎の掛け声を現役大向こうが参加者に伝授

日 時：10月26日（土）午後2時～3時30分

場 所：オープン展示スペース

講 師：波多野洋七（芝居の間男＜大向こう＞）

参加費：無料（ただし、本展観覧券が必要）

参加者数：39人

##### 【ワークショップ「隈取で変身！」】

内 容：自分の顔に隈を描いて、布に転写する隈取体験

日 時：11月3日（日・祝）午前10時30分～午後0時30分

場 所：オープン展示スペース

講 師：小栗幸江（美濃歌舞伎博物館相生座館長、ミュージアム中仙道館長）

参加費：500円(ただし、本展観覧券が必要)

申込：往復はがきに参加希望者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、10月19日(土)必着で申込

参加者数：19人

【レクチャー「歌舞伎衣裳の秘密」】

内容：歌舞伎衣裳の色や模様の意味などの解説とともに衣裳の着付けも披露

日時：11月3日(日・祝)午後2時～4時(30分前から整理券配布)

場所：オープン展示スペース

参加費：無料(ただし、本展観覧券が必要)

講師：小栗幸江(美濃歌舞伎博物館相生座館長、ミュージアム中仙道館長)

参加者数：40人

【長唄三味線・鳴物ライブ&ワークショップ「歌舞伎の華 長唄の魅力」】

内容：演者からみた歌舞伎の魅力や音楽についてのトークを交えながらの演奏

日時：11月4日(月・祝)午後2時～4時(30分前から整理券配布)

場所：オープン展示スペース

参加費：無料(ただし、本展観覧券が必要)

出演：杵屋六秋、杵屋六春、杵屋六秋葉、住田長千果

参加者数：62人

【レクチャー「歌舞伎舞台を支える狂言方と附打ち」】

内容：プロの狂言方による解説と実演

日時：11月17日(日)午後2時～3時(30分前から整理券配布)

場所：オープン展示スペース

参加費：無料(ただし、本展観覧券が必要)

講師：逆瀬川浩(株式会社三光)、金光浩昭(株式会社三光)

参加者数：48人

【学芸員ギャラリートーク】

日時：①10月19日(土)、②11月9日(土)、③23日(土)

各回午後2時～3時

場所：展示室1、展示室2

担当：野中 祐美子

参加者数：①5人、②6人、③中止

その他

【お楽しみコーナー】

内 容：御園座にて実際に舞台上で使われている大道具の展示

日 時：会期中

場 所：オープン展示スペース

## 出品目録

NO.	作品名	作者名等	制作年	員数・技法	寸法(cm)	所蔵先
1	お染久松色読販	初代歌川豊国	江戸時代 文政2年 (1819)4月	大判錦絵三枚 続	39.1×26.5、38.8 ×25.9、39.0× 26.6	国立劇場
2	寄三津再十二支	初代歌川国貞	江戸時代 文化11 (1814)3月	大判錦絵二枚 続	39.1×26.6、 39.0×26.7	国立劇場
3	また茲姿八景	初代歌川豊国	江戸時代 文化10年 (1813)6月	大判錦絵	36.6×25.0	国立劇場
4	七龔東雛形	勝川春英	江戸時代 天明7年 (1787)3月	大判錦絵	38.5×26.3	国立劇場
5	八重九重花姿絵	初代歌川国貞	江戸時代 天保12年 (1841)7月	大判錦絵	36.0×25.1	国立劇場
6	吾孀菊宿の雛形	初代歌川国貞	江戸時代 文政4年 (1821)3月	大判錦絵		国立劇場
6-1	弁才天				37.4×25.2	
6-2	狂乱				37.5×25.3	
6-3	だひもく踊				37.6×25.3	
6-4	神功皇后				37.5×25.3	
6-5	いさみ				37.4×25.2	
6-6	あつまむすめ				37.4×25.2	
6-7	雀踊				37.5×25.2	
7	『御狂言楽屋本説』	三亭春馬著/ 二代目歌川国 綱ほか画	江戸時代 安政5～6年 (1858～59)	三冊	各12.8×12.0	国立劇場
8	東海道四谷怪談 蛇山庵室の場	三代目歌川豊 国	江戸時代 嘉永4年 (1851)5月	大判錦絵	35.2×24.4	国立劇場
9	東海道四谷怪談 蛇山庵室の場	初代歌川芳艶	江戸時代 文久元年 (1861)7月	大判錦絵	37.6×25.4	国立劇場
10	東海道四谷怪談 隠亡堀の場	三代目歌川豊 国	江戸時代 文久元年 (1861)7月	大判錦絵三枚 続	35.9×24.9、36.0 ×25.2、35.9× 24.1	国立劇場
11	釣葱萌芽拙	歌川国芳	江戸時代 嘉永元年 (1848)6月	大判錦絵二枚 続	36.5×24.0、36.6 ×24.1	国立劇場
12	万歳阿国歌舞伎	初代歌川国貞	江戸時代 文政10年 (1827)3月	大判錦絵三枚 続	35.5×25.5、35.6 ×25.5、35.5× 25.2	国立劇場
13	義経千本桜	初代歌川国貞	江戸時代 文政8年 (1825)5月	大判錦絵	36.8×24.6	国立劇場
14	春興鏡獅子	豊原国周	明治26年 (1893)3月	大判錦絵三枚 続	36.9×25.7、36.8 ×25.7、37.0× 25.7	国立劇場
15	鬼一法眼三略巻	豊原国周	明治29年 (1896)10月	大判錦絵三枚 続	37.3×25.2、36.9 ×25.2、36.9× 25.2	国立劇場
16	見立奇術鏡	豊原国周	明治18年 (1885)7月	大判錦絵三枚 続	34.1×23.6、33.9 ×23.8、34.0× 23.2	国立劇場

NO.	作品名	作者名等	制作年	員数・技法	寸法(cm)	所蔵先
17	枝垂桜文様着付(比翼仕立)「京鹿子娘道成寺」白拍子花子の衣裳(六代目尾上菊五郎所用)		昭和11年(1936)頃	一領		(株)三越伊勢丹
18	枝垂桜文様着付のかぶせ「京鹿子娘道成寺」白拍子花子の衣裳(六代目尾上菊五郎所用)		昭和11年(1936)頃	一領		(株)三越伊勢丹
19	雪持竹南天雀文様打掛「伽羅先代萩」政岡の衣裳(五代目中村歌右衛門所用)		昭和3年(1928)頃	一領		(株)三越伊勢丹
20	正月飾模様縫打掛「助六由縁江戸桜」揚巻の衣裳(六代目尾上菊五郎所用)		昭和8年(1933)頃	一領		(株)三越伊勢丹
21	六代目尾上菊五郎・鏡獅子	木村伊兵衛	昭和9年(1934)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×50.8	高浜市やきものの里かわら美術館
22	六代目尾上菊五郎・楽屋にて	木村伊兵衛	昭和14年(1939)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×50.8	高浜市やきものの里かわら美術館
23	六代目尾上菊五郎・寺子屋	木村伊兵衛	昭和14年(1939)	ゼラチン・シルバー・プリント	50.8×40.4	高浜市やきものの里かわら美術館
24	六代目尾上菊五郎・寿曾我対面	木村伊兵衛	昭和14年(1939)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×50.8	高浜市やきものの里かわら美術館
25	六代目尾上菊五郎・仮名手本忠臣蔵	木村伊兵衛	昭和14年(1939)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×50.8	高浜市やきものの里かわら美術館
26	六代目尾上菊五郎・娘道成寺	木村伊兵衛	昭和11年(1936)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×50.8	高浜市やきものの里かわら美術館
27	六代目尾上菊五郎・弁天小僧	木村伊兵衛	昭和14年(1939)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×50.8	高浜市やきものの里かわら美術館
28	六代目尾上菊五郎・弁天小僧	木村伊兵衛	昭和14年(1939)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×50.8	高浜市やきものの里かわら美術館
29	十五世市村羽左衛門・助六	木村伊兵衛	昭和14年(1939)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×50.8	高浜市やきものの里かわら美術館
30	河原崎長十郎・天平の薨	木村伊兵衛	昭和38年(1963)	ゼラチン・シルバー・プリント	40.4×50.8	高浜市やきものの里かわら美術館
31	鬘付	歌川芳虎	江戸時代 安政元年 (1854)7月	大判錦絵	36.7×24.3	国立劇場
32	鬘付	豊原国周	明治15年 (1882)7月	大判錦絵	36.8×24.8	国立劇場
33	香箱と鬘付	歌川芳虎	江戸時代後期	大判錦絵	35.7×25.0	国立劇場
34	香箱と鬘付	歌川芳虎	江戸時代後期	大判錦絵	36.6×24.7	国立劇場
35	御名残口上 三代目中村歌右衛門	初代歌川国貞	江戸時代 文化12年 (1815)7月	大判錦絵三枚 続	39.0×26.0、38.7×26.0、38.9×26.4	国立劇場

NO.	作品名	作者名等	制作年	員数・技法	寸法(cm)	所蔵先
36	尾上菊五郎当り狂言合	歌川貞房	江戸時代 天保3~13年 (1832~1842) 頃	大判錦絵	25.5×37.3	国立劇場
37	七福神けいこまち	歌川房種	江戸時代 文久2年 (1862)9月	大判錦絵三枚 続	35.7×23.5、35.7 ×24.3、35.7× 24.3	国立劇場
38	正札附俳優手遊	月岡芳年	江戸時代 文久元年 (1861)11月	大判錦絵三枚 続	36.2×25.0、36.2 ×24.8、36.2× 24.7	国立劇場
39	押限「春興鏡獅子」獅子の精	三代目市川猿之助	昭和51年 (1976)12月	一幅		株式会社御園座
40	押限「連獅子」親獅子の精、子獅子の精	十七代目中村勘三郎 五代目中村勘九郎	昭和52年 (1977)10月	一幅		株式会社御園座
41	押限「菅原伝授手習鑑」梅王丸	六代目尾上菊五郎	昭和時代	一幅		株式会社御園座
42	押限「菅原伝授手習鑑」松王丸	初代中村吉右衛門	昭和時代	一幅		株式会社御園座
43	押限「菅原伝授手習鑑」桜丸	十五代目市村羽左衛門	昭和時代	一幅		株式会社御園座
44	押限「菅原伝授手習鑑」藤原時平	初代中村吉右衛門	昭和時代	一幅		株式会社御園座
45	『市川家秘伝限取図巻』	七代目市川団十郎	大正3年 (1914)	一冊	18.7×25.6	西尾市岩瀬文庫
46	参考展示「京鹿子娘道成寺」白拍子花子の鬘			一頭		神田かつら店
47	参考展示「菅原伝授手習鑑」松王丸の鬘			一頭		神田かつら店
48	参考展示「助六由縁江戸桜」助六の鬘			一頭		神田かつら店
49	参考展示「春興鏡獅子」獅子の精の鬘			一頭		神田かつら店
50	新富座劇場之図・新富座劇場三階之図	神山清七	明治14年 (1881)7月	大判錦絵二枚 続	36.7×24.2、36.7 ×24.7	国立劇場
51	俳優楽屋の佛澤村源之助	豊原国周	明治21年 (1888)8月	大判錦絵	36.5×24.9	国立劇場
52	俳優楽屋の佛片岡我童	豊原国周	明治21年 (1888)8月	大判錦絵	36.9×24.8	国立劇場
53	俳優楽屋の佛中村芝翫	豊原国周	明治21年 (1888)5月	大判錦絵	37.0×25.3	国立劇場
54	俳優楽屋の佛中村福助	豊原国周	明治21年 (1888)6月	大判錦絵	37.6×25.9	国立劇場
55	木ひき町 森田座顔見勢楽屋之図	初代歌川国貞	江戸時代 文化9年 (1812)11月	大判錦絵三枚 続	40.0×27.8、40.0 ×27.7、40.1× 27.7	国立劇場
56	中村座三階図	初代歌川国貞	江戸時代 文政7年 (1824)	大判錦絵三枚 続	38.5×26.0、38.8 ×26.0、38.6× 26.4	国立劇場
57	俳優楽屋の姿見裏木戸の関	二代目歌川国貞	江戸時代 元治元年 (1864)1月	大判錦絵	37.1×24.9	国立劇場
58	俳優楽屋の姿見大部屋	二代目歌川国貞	江戸時代 元治元年 (1864)1月	大判錦絵	37.2×24.9	国立劇場
59	俳優楽屋の姿見書出し立役部屋	二代目歌川国貞	江戸時代 元治元年 (1864)1月	大判錦絵	37.2×24.6	国立劇場

NO.	作品名	作者名等	制作年	員数・技法	寸法(cm)	所蔵先
60	俳優楽屋の姿見 座頭部屋	二代目歌川国 貞	江戸時代 文久3年 (1863)11月	大判錦絵	37.1×25.0	国立劇場
61	俳優楽屋の姿見 作者部屋	二代目歌川国 貞	江戸時代 元治元年 (1864)1月	大判錦絵	37.1×24.5	国立劇場
62	俳優楽屋の姿見 座元部屋	二代目歌川国 貞	江戸時代 文久3年 (1863)11月	大判錦絵	37.1×24.6	国立劇場
63	俳優楽屋の姿見 三階はしご	二代目歌川国 貞	江戸時代 文久3年 (1863)11月	大判錦絵	37.0×25.1	国立劇場
64	俳優楽屋の姿見 下稽古	二代目歌川国 貞	江戸時代 元治元年 (1864)1月	大判錦絵	37.1×24.8	国立劇場
65	俳優楽屋の姿見 立女形部屋	二代目歌川国 貞	江戸時代 文久3年 (1863)11月	大判錦絵	37.2×24.7	国立劇場
66	芝居きやうげんの図		江戸時代 寛保期(1741 ~43)頃	漆絵	33.4×45.0	国立劇場
67	浮絵 江戸堀町芝居 之図	鳥橋斎永理	江戸時代 寛 政10年(1798)	大判錦絵	24.7×37.0	国立劇場
68	芝居大繁昌之図	初代歌川豊国	江戸時代 文 化14年(1817) 3月	大判錦絵三枚 続	39.1×26.1、39.3 ×26.1、39.3× 26.1	国立劇場
69	東都名所猿若町芝居	初代歌川広重	江戸時代 弘化4年~嘉 永5年(1847 ~1852)頃	大判錦絵	25.0×36.7	国立劇場
70	楽屋十二支之内 子 仁木弾正	二代目歌川国 貞	江戸時代 万延元年 (1860)8月	大判錦絵	35.8×24.0	国立劇場
71	楽屋十二支之内 牛 けん牛・夜ばい星	三代目歌川豊 国	江戸時代 万延元年 (1860)10月	大判錦絵	36.0×24.6	国立劇場
72	楽屋十二支之内 寅 佐藤正清	二代目歌川国 貞	江戸時代 万延元年 (1860)8月	大判錦絵	35.7×24.5	国立劇場
73	楽屋十二支之内 卯 平太郎良門	三代目歌川豊 国	江戸時代 万延元年 (1860)10月	大判錦絵	35.7×24.0	国立劇場
74	楽屋十二支之内 辰 雪姫	二代目歌川国 貞	江戸時代 万延元年 (1860)8月	大判錦絵	35.8×24.3	国立劇場
75	楽屋十二支之内 巳 石登米武助	二代目歌川国 貞	江戸時代 万延元年 (1860)9月	大判錦絵	35.8×24.5	国立劇場
76	楽屋十二支之内 午 奴ノ小まん	二代目歌川国 貞	江戸時代 万延元年 (1860)9月	大判錦絵	36.0×24.6	国立劇場
77	楽屋十二支之内 未 茨原の藤兵衛・玉屋新 兵衛	三代目歌川豊 国	江戸時代 万延元年 (1860)10月	大判錦絵	35.8×24.2	国立劇場
78	楽屋十二支之内 申 与次郎	二代目歌川国 貞	江戸時代 万延元年 (1860)8月	大判錦絵	35.8×24.1	国立劇場
79	楽屋十二支之内 酉 松月尼	二代目歌川国 貞	江戸時代 万延元年 (1860)9月	大判錦絵	35.5×24.4	国立劇場
80	楽屋十二支之内 犬 犬塚信乃	三代目歌川豊 国	江戸時代 万延元年 (1860)10月	大判錦絵	35.7×24.8	国立劇場
81	楽屋十二支之内 亥 斧定九郎	二代目歌川国 貞	江戸時代 万延元年 (1860)9月	大判錦絵	35.5×24.8	国立劇場



N0.	作品名	作者名等	制作年	員数・技法	寸法(cm)	所蔵先
82	大新ばん芝居の内まく		明治時代	錦絵	16.7×35.7	国立劇場
83	『戯場訓蒙図会』	式亭三馬著／ 勝川春英・歌川 豊国画	江戸時代 享 和3年(1803) 刊本の近代刷	八巻五冊	各 22.1×15.5	西尾市岩瀬 文庫
84	『役者大鑑』	不詳	江戸時代 元 禄5年(1692)	一冊	11.0×16.2	西尾市岩瀬 文庫
85	『戯場楽屋図会』	松好齋半兵衛 著／画	江戸時代後期	二巻二冊	各 25.2×17.7	西尾市岩瀬 文庫
86	『楽屋図会拾遺』	松好齋半兵衛 著／画	江戸時代 享 和3年(1803)	二巻二冊	各 26.2×18.5	西尾市岩瀬 文庫

《前期展示のみ》

N0.	作品名	制作年	員数・技法	寸法(cm)	所蔵先
87	藤花文様着付「藤娘」藤娘の衣裳（六代目尾上菊五郎所用）	昭和12年(1937)頃	一領		(株)三越伊勢丹
88	龍丸入格子文様羽織・着付「助六由縁江戸桜」意休の衣裳（七代目松本幸四郎所用）	昭和4年(1929)頃	一領		(株)三越伊勢丹
89	雪持松文様友禅染縫羽織・着付「菅原伝授手習鑑」松王丸の衣裳（六代目尾上菊五郎所用）	大正～昭和時代	一領		(株)三越伊勢丹
90	西尾市指定文化財 四条河原遊楽図屏風	江戸時代／17世紀	六曲一双のうち 右隻	95.5 × 263.1	西尾市岩瀬文庫

《後期展示のみ》

N0.	作品名	制作年	員数・技法	寸法(cm)	所蔵先
91	竹に雀文様羽織・着付「伽羅先代萩」頼兼の衣裳（七代目市村家橘所用）	昭和時代	一領		(株)三越伊勢丹
92	赤茶縹子地雲龍波濤模様縫羽織・着付「助六由縁江戸桜」意休の衣裳（二代目市川段四郎所用）	明治～大正時代	一領		(株)三越伊勢丹
93	白斜子地鯉の瀧登模様染縫着付「押戻し」竹拔五郎の衣裳（五代目市川三升所用）	昭和9年(1934)頃	一領		(株)三越伊勢丹
94	西尾市指定文化財 四条河原遊楽図屏風	江戸時代／17世紀	六曲一双のうち 左隻	95.5 × 263.1	西尾市岩瀬文庫

### ③ 企画展 アーティストシリーズ Vol. 71～73



- 開館時間：午前10時～午後7時（入館は午後6時30分まで）
  - 観覧料：一般 200円 団体 160円（20名以上）  
中学生以下、各種障害者手帳提示者及び付添人1名は無料
  - 会場：展示室2
  - 主催：清須市はるひ美術館
- ※清須市はるひ美術館収蔵作品展「緑を想う」同時開催

清須市はるひ美術館では1999年の開館以来、新たな才能の発掘・育成をめざし、絵画の公募展を継続して開催してきました。「アーティストシリーズ」は、この公募展で高く評価された作家から厳選して、個展形式により紹介する展覧会で、これまでに70名を取り上げました。

今年度は、2012年に行われた直近の公募展「清須市第7回はるひ絵画トリエンナーレ」で高い評価を得た作家の中から、源馬菜穂（大賞）、栗原光（優秀賞）、打田宗平（優秀賞）を順次取り上げ、受賞の前後で作風がどのように変わったかをたどれるように展示構成しました。

## Vol. 71 源馬菜穂展



《contact》2010年

- 会 期：2013年12月8日（日）～12月27日（金）
- 出品点数：28点
- 入館者数：248人（17日間）
- 担当学芸員：野中 祐美子

2012年に開催した「清須市第7回はるひ絵画トリエンナーレ」において《contact》が大賞に選ばれた源馬菜穂の個展を開催しました。一見、単調に見える画面ですが、人物の配置や空と大地が溶け合うダイナミックな空間構成、明るい中間色を基調とした色彩や軽快でのびやかな筆致は、鑑賞者を作品の内奥へと引き込む力強さがあります。

本展では、大賞作品やそれ以前の関連作品を含む28点を展示しました。

### 関連イベント

#### 【アーティストトーク】

日 時：12月22日（日）午後2時～3時

参加者数：30人

### 出品目録

No.	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
1	どこかから来た人	2007	油彩、キャンバス	24.0×41.0
2	どこかへ行く人	2007	油彩、キャンバス	24.0×41.0
3	somewhere	2007	油彩、キャンバス	97.0×130.0
4	the good old days	2009	油彩、キャンバス	38.0×45.5

No.	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
5	flat	2009	油彩、キャンバス	112.0×172.0
6	step	2009	油彩、キャンバス	130.0×162.0
7	contact	2010	油彩、キャンバス	162.0×130.0
8	over	2011	油彩、キャンバス	45.5×38.0
9	向かう	2013	水彩、紙	27.0×22.5
10	人と音	2013	油彩、紙	28.5×23.0
11	山と道	2013	油彩、紙	25.5×22.0
12	untitled	2013	油彩、紙	27.5×22.5
13	湖	2013	油彩、紙	28.8×23.5
14	pass	2013	テンペラ、油彩、キャンバス	27.3×22.0
15	pray	2013	テンペラ、油彩、キャンバス	27.3×22.0
16	bless	2013	テンペラ、油彩、キャンバス	162.0×130.0
17	季節	2012-13	油彩、キャンバス	18.0×14.0
18	想う	2013	テンペラ、油彩、キャンバス	41.0×31.8
19	far	2013	テンペラ、油彩、キャンバス	162.0×130.0
20	untitled	2013	テンペラ、キャンバス	45.5×38.0
21	time	2013	テンペラ、油彩、キャンバス	18.0×14.0
22	朝	2013	テンペラ、油彩、キャンバス	18.0×14.0
23	whisper	2013	テンペラ、キャンバス	18.0×14.0
24	それから	2013	テンペラ、油彩、キャンバス	194.0×162.0
25	山と人	2013	水彩、紙	28.0×22.0
26	響き	2013	テンペラ、キャンバス	33.3×24.2
27	山をみる	2013	テンペラ、油彩、キャンバス	22.7×15.8
28	季節のなか	2013	テンペラ、キャンバス	145.5×112.0

## Vol. 72 栗原光展



《cross section》2012年

□会 期：2014年1月7日（火）～1月25日（土）

□出品点数：27点

□入館者数：250人（17日間）

□担当学芸員：喜田 早菜江

2012年に開催した「清須市第7回はるひ絵画トリエンナーレ」において《cross section》が優秀賞に選ばれた栗原光の個展を開催しました。学生時代から、水の流れや、そこに生まれる泡をモチーフにしており、水の繊細な動きや千変万化する水の表情から得たイメージをもとに、筆跡や色のぶつかり、スピード感などを確かめながら画面を構成し、清澄な作品に仕上げているのが特徴です。

本展では、優秀賞の作品から近作まで、27点を展示しました。

#### 関連イベント

##### 【アーティストトーク】

日 時：1月12日（日）午後2時～3時

参加者数：14人

#### 出品目録

No.	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1	untitled	2010	油彩、キャンバス	33.3×45.5
2	臨界点	2010	油彩、パネル、キャンバス	194.0×130.3
3	landscape: R	2012	油彩、キャンバス	72.7×60.6
4	landscape: L	2012	油彩、キャンバス	72.7×60.6
5	involution	2013-14	油彩、キャンバス	162.0×194.0
6	shape	2012	油彩、キャンバス	72.7×53.0
7	untitled	2013	油彩、キャンバス	31.8×41.0
8	untitled	2013	油彩、キャンバス	31.8×41.0
9	shape	2011	油彩、キャンバス	45.5×38.0
10	circle	2011	油彩、キャンバス	31.8×41.0
11	cross section	2011	油彩、キャンバス	130.3×162.0
12	cross section	2012	油彩、キャンバス	130.3×162.0
13	cross section	2012	油彩、キャンバス	130.3×162.0
14	cross section	2012	油彩、キャンバス	27.3×41.0
15	flowing	2013	油彩、キャンバス	24.2×33.3

No.	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
16	dancing	2013	油彩、キャンバス	24.2×33.3
17	dancing	2013	油彩、キャンバス	24.2×33.3
18	dancing	2013	油彩、キャンバス	24.2×33.3
19	dancing	2013	油彩、キャンバス	24.2×33.3
20	slash	2013	油彩、キャンバス	162.0×162.0
21	shake	2013	油彩、キャンバス	194.0×130.3
22	waver	2013	油彩、キャンバス	38.0×45.5
23	fall	2013	油彩、キャンバス	45.5×53.0
24	waver	2013	油彩、キャンバス	162.0×162.0
25	cross section	2012	油彩、キャンバス	181.8×227.3
26	waver	2013	油彩、キャンバス	162.0×130.3
27	slowly	2013	油彩、キャンバス	72.7×60.6

## Vol. 73 打田宗平展



《もう一つの神話》2010年

- 会 期：2014年1月30日（木）～2月15日（土）
- 出品点数：10点
- 入館者数：200人（15日間）
- 担当学芸員：喜田 早菜江

2012年に開催した「清須市第7回はるひ絵画トリエンナーレ」において《もう一つの神話》が優秀賞に選ばれた打田宗平の個展を開催しました。

コントラストの高い補色を多用した色彩と、うねるようなタッチで一気に描きあげるのが特徴です。どこか狂気を帯びたような景色にたじろぎながらも、引き寄せられてしまう魅力があります。

本展では、優秀賞に輝いた作品から近作まで、10点を展示しました。

関連イベント

【アーティストトーク】

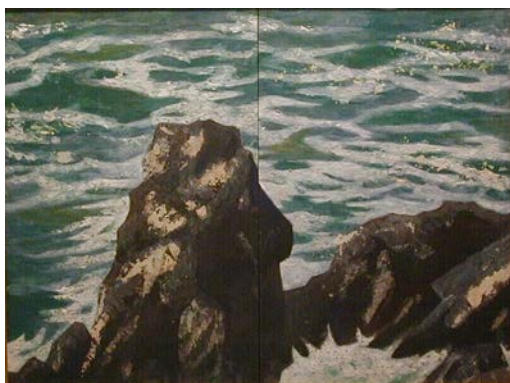
日 時：2月8日（土）午後2時～3時

参加者数：5人

No.	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1	芙蓉	2009	油彩、キャンバス	24.2×33.3
2	先駆者のゆくえ	2007	油彩、キャンバス	227.3×181.8
3	変身	2006	油彩、キャンバス	116.7×91.0
4	ライオンとフラミンゴ	2007	油彩、キャンバス	162.0×227.3
5	富士山	2014	油彩、キャンバス	181.8×227.3
6	かぼちゃ	2014	油彩、砂、キャンバス	72.7×60.6
7	もう一つの神話	2010	油彩、キャンバス	112.0×145.0
8	赤いクモ	2014	油彩、砂、キャンバス	33.3×33.3
9	通学路の丘	2009	油彩、砂、キャンバス	230.0×900.0
10	はい、どうぞ。	2009	油彩、砂、キャンバス	162.0×130.0

### (3) 収蔵作品展

#### ① 清須市はるひ美術館 収蔵作品展 「自然を描く」



倉光博 《潮》 1960年頃



猪狩雅則 《決死の覚悟》 2007年

- 会 期：2013年6月19日（水）～6月30日（日）
- 開館時間：午前10時～午後7時（入館は午後6時30分まで）
- 観覧料：一般 200円 団体 160円（20名以上）  
中学生以下、各種障害者手帳提示者は無料、付添人1名は半額
- 会場：展示室1、展示室2
- 主催：清須市はるひ美術館
- 出品点数：23点
- 入館者数：70人（11日間）
- 担当学芸員：野中 祐美子

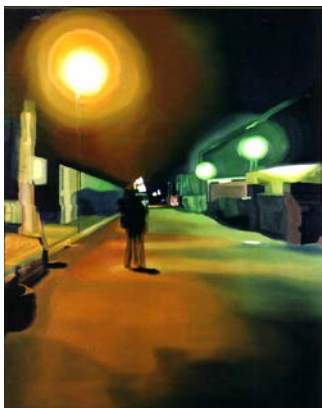
本展では、約160件の所蔵作品の中から、「自然」をテーマにした作品をご紹介します。自然の描写は古来より多くの画家たちが取り組んできたテーマのひとつであり、ひとことで「自然」といっても、さまざまな解釈がなされてきました。山や川といった同じモチーフを描いているにもかかわらず、画家によってその表現が大きく異なる点に着目しました。展示室1では「山」を、展示室2では「海」「雨」「光」「庭・公園」をテーマにした作品を集め、画家たちが感じ取った自然の美しさに心をかよわせ、さまざまに描かれた自然の姿をお楽しみいただけるよう展示しました。



## 出品目録

No.	作家名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1	川口四郎	醒メ井風景	不詳	油彩、キャンバス	27.3×41.0
2	猪狩雅則	N・A	2005	油彩、キャンバス	112.1×145.5
3	倉光 博	森の造形	1959	顔料、雲肌麻紙	51.2×44.5
4	奥田文子	Untitled	2005	油彩、キャンバス	116.9×91.0
5	西村 有	竹林を抜けていく風景	2010	油彩、キャンバス	194.0×162.0
6	保田弥生	Eiger	2005	油彩、キャンバス	162.0×130.3
7	倉光 博	潮	1960 年頃	顔料、鳥子紙（襖二枚引き）	60.2×81.4
8	猪狩雅則	決死の覚悟	2007	油彩、キャンバス	60.6×50.5
9	小川武雄	台風のそれた海	1999	油彩、キャンバス	27.3×41.0
10	吉本作次	春終日	1999	油彩、綿布	145.5×112.1
11	奥田文子	Untitled	2004	油彩、キャンバス	116.9×116.9
12	柳澤裕貴	交錯する記憶	2006	アクリル、パネル	162.0×162.0
13	今林明子	午後3時の憂鬱	2010	油彩、キャンバス	56.0×92.0
14	今林明子	残像・光・影	2008	油彩、キャンバス	45.5×92.0
15	加藤さくよし	光の泉	2003	油彩、キャンバス	130.3×162.0
16	岡本増吉	窓辺にて	2007	油彩、キャンバス	91.0×91.0
17	西村 有	庭園	2008	油彩、キャンバス	162.0×162.0
18	上田暁子	世界は大きな花束でもある	2008	油彩、キャンバス	130.0×162.0
19	傍島幹司	セントラルパーク	2000	油彩、キャンバス	59.8×90.8
20	吉本作次	春雨	1999	油彩、キャンバス	145.5×112.1
21	上田暁子	泳ぐ街	2009	油彩、キャンバス	90.9×116.7
22	倉光 博	驟雨	1966 年頃	顔料、雲肌麻紙	162.0×130.3
23	西村 有	雨降る山道	2010	油彩、キャンバス	162.0×162.0

## ② 清須市はるひ美術館 収蔵作品展 「緑を想う」



鈴木雅明《街灯》2005年

- 会 期：2013年12月8日（日）～12月27日（金）  
2014年1月7日（火）～1月25日（土）  
1月30日（木）～2月15日（土）
- 開館時間：午前10時～午後7時（入館は午後6時30分まで）
- 観覧料：一般200円 団体160円（20名以上）  
中学生以下、各種障害者手帳提示者及び付添人1名は無料
- 会場：展示室1
- 出品点数：8点
- 入館者数：698人（49日間）
- 担当学芸員：喜田 早菜江
- ※企画展アーティストシリーズ Vol. 71～73 と同時開催

本展では、約160件の収蔵作品の中から、「緑を想う」と題して8点の作品をご紹介します。

田畑や森など自然界には緑が多く、私たちは常日頃、緑に親しんでいます。しかし一口に緑色といっても、それが指し示す色の幅は広く、ここに展示している6名の画家もそれぞれの緑を使って独自の表現を追究しています。

緑色は野菜、果物、花といった物の固有色としてだけでなく、見る人や時間によって変わる街灯や人物の肌にも使われています。また、作家によっては緑のバリエーションのみで画面を作り上げている場合もあります。

アーティストシリーズ Vol. 71～73 の会期に併せて、展示室1で展示しました。

## 出品目録

No.	作家名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1	野村清六	南瓜と茄子	不詳	顔料、楮紙	44.5×60.5
2	森 緑翠	柿と葡萄	不詳	顔料、紙	44.8×65.3
3	鈴木雅明	街灯	2005	油彩、キャンバス	162.0×130.3
4	岡田 徹	人	1960	油彩、キャンバス	53.0×65.2
5	岡田 徹	緑の旗	1961	油彩、キャンバス	91.0×116.7
6	森 緑翠	泪の女	不詳	顔料、色紙	45.5×33.5
7	杉浦盈二	静物	1955年頃	顔料、鳥子紙	51.2×45.2
8	倉光 博之	洋蘭	不詳	顔料、雲肌麻紙	52.5×40.5

#### (4) 貸ギャラリー

□開館時間：午前10時～午後7時（入館は午後6時30分まで）

□観覧料：無料



ザ・伊勢型紙展



遊びと創造の場 こどもデザイン室展 2014

清須市文化協会 ザ・伊勢型紙展

□会 期：2013年4月3日（水）～4月7日（日）

□会 場：展示室2

□入館者数：813人（5日間）

清須市文化協会 新川写真クラブ風景写真展

□会 期：2014年2月25日（火）～3月2日（日）

□会 場：展示室1

□入館者数：563人（6日間）

遊びと創造の場 こどもデザイン室展 2014

□会 期：2014年2月26日（水）～3月2日（日）

□会 場：展示室2

□入館者数：512人（5日間）

清須市文化協会 第8回春日絵画クラブ作品展

□会 期：2014年3月4日（火）～3月9日（日）

□会 場：展示室2

□入館者数：252人（6日間）

清須市文化協会 第9回水彩画クラブ作品展

会 期：2014年3月11日（火）～3月16日（日）

会 場：展示室2

入館者数：370人（6日間）

清須市文化協会 新川絵画クラブ展

会 期：2014年3月18日（火）～3月23日（日）

会 場：展示室1

入館者数：473人（6日間）

清須市文化協会 清洲絵画クラブ展 第42回春彩の会

会 期：2014年3月18日（火）～3月23日（日）

会 場：展示室2

入館者数：473人（6日間）

清須市文化協会 第10回春日写影会写真展

会 期：2013年3月25日（火）～3月30日（日）

会 場：展示室2

入館者数：556人（6日間）

## (5) その他展示

### ① 第1回 清須市4中学校美術部展 小さなアーティストたち



教員作品の展示風景(展示室1)



生徒作品の展示風景(展示室2)

- 会 期：2014年6月15日(土)～16日(日)
- 開館時間：午前10時～午後5時(最終日は午後3時まで)
- 観覧料：無料
- 会場：展示室1、展示室2
- 主催：清須市立西枇杷島中学校、清須市立清洲中学校、清須市立新川中学校、清須市立春日中学校
- 協力：清須市教育委員会、清須市はるひ美術館
- 出品点数：233点(①西枇杷島中 生徒作品34点/教員作品1点、②清洲中 102点/6点、③新川中 44点/3点、④春日中 39点/4点)
- 入館者数：490人(2日間)

本展は清須市立の中学校と清須市はるひ美術館とが連携し、地域文化振興を目指して始まりました。平成23・24年度に清洲中学校美術部による展覧会を開催し、本年度、西枇杷島中学校、新川中学校、春日中学校の美術部が加わり、4校合同の展覧会が実現しました。展覧会を協働し作り上げることで、生徒たちの創作意欲を高める良い機会ともなりました。

#### 関連イベント

##### 【西枇杷島中学校邦楽部の演奏】

日 時：6月15日(土) 午前・午後各1回演奏  
場 所：美術館1階エントランスホール

##### 【清洲中学校茶道部の呈茶】

日 時：会期中  
場 所：美術館1階エントランスホール

## ② 第 5 回友好姉妹提携都市 清須市・ヘレス市子ども絵画交換事業 子ども絵画展



展示風景

- 会 期：2014年2月19日（水）～2月23日（日）
- 開館時間：午前10時～午後7時（最終日は午後3時まで）
- 観覧料：無料
- 会場：展示室2
- 主催：清須市教育委員会
- 出品点数：234点（清須市180点、ヘレス市54点）
- 入館者数：642人（5日間）

清須市ではスペインのヘレス市と友好姉妹都市を提携しています。この絵画交換事業は文化交流の一環として始まり、今回で5回目となります。毎年、両市でテーマを設定して子どもたちから絵画を募集し、その中から作品の一部を交換し合い、展示を行ってきました。

第5回のテーマは清須市「春」。ヘレス市は第1回目の作品「私の町」をテーマとし、作品を展示しました。

### 関連イベント

#### 【表彰式】

- 日 時：2月22日（土）午前10時～11時
- 場 所：オープン展示スペース
- 対 象：清須市立小学校の5・6年生の応募者のうち優秀作品に選ばれた児童

#### 【探してみよう！この絵はど～こ？】

- 日 時：2月22日（土）午後2時～3時
- 場 所：展示室2
- 内 容：スペイン出身のエリザベス・ヘア・サストレ（清須市国際交流員）と作品のカケラをヒントに一緒に探しながら、楽しく鑑賞しました。

**【自分だけのカスタネットをつくろう】**

日 時：2月23日（日）午後1時～2時

場 所：オープン展示スペース

対 象：清須市お住まいの小学生

材 料 費：400円

申 込：清洲市民センターにて受付、先着順

講 師：富永敏博（あま市教育相談センター指導員）

参加者数：11人

内 容：無地のカスタネットにスペインにちなんだ絵図などを参考に絵を描き、  
自分だけのオリジナルカスタネットを作りました。

**【ぬりえコーナー】**

日 時：会期中

場 所：オープン展示スペース

内 容：色えんぴつを使ってぬりえをしてもらい、完成した作品の掲示をしました。  
た。



### 3 利用状況

#### (1) 年間展示スケジュール

※太枠は美術館主催、破線枠は貸ギャラリー展示

	展示室 1	展示室 2
4		ザ・伊勢型紙展 4月3日(水)～4月7日(日)
5	清須ゆかりの作家 加藤正音展 4月12日(金)～6月9日(日)	
6	第1回清須市4中学校美術部展 小さなアーティストたち 6月15日(土)・16日(日)	
	清須市はるひ美術館 収蔵作品展 6月19日(水)～6月30日(日)	
7	【特別展】	
8	リサとガスパール&ペネロペ展 7月6日(土)～9月29日(日)	
9	ゲオルグ・ハレンスレーベンと アン・グットマンの世界	
10	【企画展】	
11	歌舞伎   変身 10月8日(火)～12月1日(日)	
12	清須市はるひ絵画トリエンナーレアーティスト シリーズ Vol. 71 源馬菜穂展 / 清須市はるひ美術館 収蔵作品展	12月8日(日)～12月27日(金)
1	清須市はるひ絵画トリエンナーレアーティスト シリーズ Vol. 72 栗原 光展 / 清須市はるひ美術館 収蔵作品展	1月7日(火)～1月25日(土)
2	清須市はるひ絵画トリエンナーレアーティスト シリーズ Vol. 73 打田宗平展 / 清須市はるひ美術館 収蔵作品展	1月30日(木)～2月15日(土)
	第5回友好姉妹提携都市清須市・ヘレス市 子ども絵画交換事業 子ども絵画展	2月19日(水)～2月23日(日)
3	新川写真クラブ 風景写真展 2月25日(火)～3月2日(日)	こどもデザイン室展 2014 2月26日(水)～3月2日(日)
		第8回春日絵画クラブ作品展 3月4日(火)～3月9日(日)
		第9回水彩画クラブ作品展 3月11日(火)～3月16日(日)
	新川絵画クラブ展 3月18日(火)～3月23日(日)	清洲絵画クラブ展 第42回春彩の会 3月18日(火)～3月23日(日)
		春日写影会写真展 3月25日(火)～3月30日(日)

## (2) 平成 25 年度入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数 (日)	21	27	23	23	27	25	21	26	18	19	22	26	278
人数 (人)	1,252	478	753	2,384	3,841	3,959	463	811	285	271	1,036	1,999	17,532

## (3) 展覧会別入館者数

展覧会名	入館者数	開館日数	備 考
清須市文化協会 ザ・伊勢型紙展	813 人	5 日	
企画展 清須ゆかりの作家 加藤正音展	1,078 人	51 日	
2F 開放デー ワークショップ「父の日アートなおくり物」	22 人	1 日	清須市立図書館との共同イベント
2F 開放デー	10 人	1 日	
第 1 回清須市 4 中学校美術部展 小さなアーティストたち	490 人	2 日	
清須市はるひ美術館 収蔵作品展 「自然を描く」	70 人	11 日	
特別展 リサとガスパール&ペネロペ展 ゲオルグ・ハレンスレーベンとアン・グットマンの世界	10,184 人	75 日	福祉観覧デー1日を含む
企画展 歌舞伎   変身	1,311 人	48 日	
清須市はるひ美術館 収蔵作品展	248 人	17 日	同時開催
企画展 アーティストシリーズ Vol. 71 源馬菜穂展			
清須市はるひ美術館 収蔵作品展	250 人	17 日	同時開催
企画展 アーティストシリーズ Vol. 72 栗原 光展			
清須市はるひ美術館 収蔵作品展	200 人	15 日	同時開催
企画展 アーティストシリーズ Vol. 73 打田宗平展			
清須市・ヘレス市子ども絵画交換事業	642 人	5 日	
清須市文化協会 新川写真クラブ 風景写真展	563 人	6 日	「こどもデザイン室展 2014」は 2/26 より開催
遊びと創造の場 こどもデザイン室展 2014	(512) 人		
清須市文化協会 第 8 回春日絵画クラブ作品展	252 人	6 日	
清須市文化協会 第 9 回水彩画クラブ作品展	370 人	6 日	
清須市文化協会 新川絵画クラブ展	473 人	6 日	同時開催
清須市文化協会 清洲絵画クラブ展 第 42 回春彩の会			
清須市文化協会 第 10 回春日写真会写真展	556 人	6 日	

(4) 開館以来の入館者数

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19
日数 (日)	298	295	296	286	294	300	294	293	309
人数 (人)	13,450	10,173	8,532	17,091	8,431	10,308	15,449	14,509	15,201

年度	20	21	22	23	24	25
日数 (日)	294	269	287	263	258	278
人数 (人)	16,966	12,241	17,185	6,795	20,305	17,532

#### 4 教育普及活動

##### (1) サタデーキッズクラブ 清須キッズアートラボ



開催風景

- 開催数：全4回
- 時間：午前9時30分～正午（9月7日のみ午後2時30分終了）
- 材料費：1,200円（全4回分）
- 場所：清須市はるひ美術館（9月7日のみ名古屋芸術大学）
- 対象：清須市在住の小学3年生～4年生
- 参加者数：15人

本事業は、清須市生涯学習講座の一環として、市内の小学生を対象に、美術館や芸術大学において実際に美術作品を鑑賞して、創作活動をすることにより、感性や想像力をより豊かなものに育むことを目指して行いました。

##### 第1回

開催日：6月8日（土）

場所：清須市はるひ美術館

担当：野中 祐美子、喜田 早菜江

内容：カードを使ったゲームを取り入れ、加藤正音展を鑑賞しました。

参加者数：6人

##### 第2回

開催日：7月13日（土）

場所：清須市はるひ美術館

担当：野中 祐美子、喜田 早菜江

内容：リサとガスパール&ペネロペ展を鑑賞後、画用紙を使って、ポップアップカードの制作をしました。

参加者数：13人

### 第3回

開催日：9月7日（土）

場所：名古屋芸術大学

講師：西村 正幸（名古屋芸術大学美術学部教授）

内容：名古屋芸術大学のキャンパスを訪れ、「ドライポイント」と「エッチング」という版画の体験をしました。

参加者数：13人

### 第4回

開催日：10月19日（土）

場所：清須市はるひ美術館

担当：野中 祐美子、喜田 早菜江

内容：企画展「歌舞伎 | 変身」の鑑賞後、和紙に色画用紙や絵の具等を使って、舞台衣裳を制作しました。

参加者数：11人

## （2）大人のためのアートスクール 清須アートラボ



開催風景

開催数：全10回（通年）

時間：午前10時～正午

参加費：1,000円（全10回分）観覧料や交通費など実費は別途必要

場所：清須市はるひ美術館、清須市立図書館研修室他

対象：清須市内在住・在勤者

申込：往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、申込

参加者数：15人

本事業は、清須市生涯学習講座の一環として平成 23 年度に新設された講座です。美術鑑賞の楽しさや奥深さにふれる場を提供することにより、美術館をより身近に感じてもらうことを目指しています。

第 1 回 開講式(オリエンテーション)

開催日：4月25日(木)

場所：清須市はるひ美術館

担当：野中 祐美子、喜田 早菜江

内容：自己紹介、アートの楽しみ方、加藤正音展鑑賞

参加者数：14人

第 2 回 美術講座：名画鑑賞（日本美術編①）

開催日：5月23日(木)

場所：清須市立図書館研修室

担当：野中 祐美子

内容：マンガの原型！絵巻の世界にご案内～平安時代から室町時代～

参加者数：11人

第 3 回 ミュージアム鑑賞ツアー

開催日：6月20日(木)

場所：一宮市三岸節子記念美術館

内容：「宮脇綾子展ーアプリケにつづる愛ー」鑑賞

参加者数：11人

第 4 回 美術講座：名画鑑賞（日本美術編②）

開催日：8月8日(木)

場所：清須市図書館研修室

担当：喜田 早菜江

内容：日本絵画史上最大の画派、狩野派徹底解明!!～桃山時代から江戸時代まで～

参加者数：11人

第 5 回 ミュージアム鑑賞ツアー

開催日：9月12日(木)

場所：メナード美術館

内容：「開館 25 周年記念コレクション名作展Ⅳ西洋美術：世界の名画を

見ませんか？」鑑賞

参加者数：10人

第6回 美術講座：名画鑑賞（西洋美術編①）

開催日：10月10日（木）

場 所：清須市立図書館

担 当：喜田 早菜江

内 容：描かれた美女たち～ルネサンスから印象派前夜まで～

参加者数：11人

第7回 ミュージアム鑑賞ツアー

開催日：11月14日（木）

場 所：名古屋市美術館

内 容：「ハイレッド・センター：「直接行動」の軌跡展」鑑賞

参加者数：11人

第8回 美術講座：名画鑑賞（西洋美術編②）

開催日：1月16日（木）

場 所：清須市立図書館

担 当：野中 祐美子

内 容：ピカソって何で天才なの?!～印象派から20世紀美術まで～

参加者数：9人

第9回 修了式

開催日：2月27日（木）

場 所：清須市立図書館研修室

担 当：野中 祐美子、喜田 早菜江

参加者数：8人

内 容：清須アートラボ検定

第10回 ミュージアム鑑賞ツアー

開催日：3月13日（木）

場 所：愛知県美術館

内 容：「印象派をこえて一点描の画家たちゴッホ、スーラからモンドリアンまで」展鑑賞

参加者数：12人

### (3) 清須アートサポーター



開催風景

- 開催数：全12回（通年）
- 時間：午後1時30分～4時30分
- 参加費：無料
- 対象：清須市内在住・在勤者（活動を希望するアトラボ修了者）
- 場所：清須市はるひ美術館他
- 参加者数：21人

「アートサポーター養成講座」は、多岐にわたる美術館の仕事をサポートしながら、より深く美術館と関わりたい人に向けた活動を行っています。前年度の「清須アトラボ」修了者も8人加入し、今年度のメンバーは21人となりました。通年で行われる全12回の講座です。

第1回 開催日：4月18日（木）

内 容：自己紹介、「加藤正音展」鑑賞、美術館案内看板について検証  
参加者数：11人

第2回 開催日：5月12日（木）

内 容：「リサとガスパー＆ペネロペ展」チラシデザイン検討、美術史  
勉強会・清須市立図書館にて図書検索  
参加者数：11人

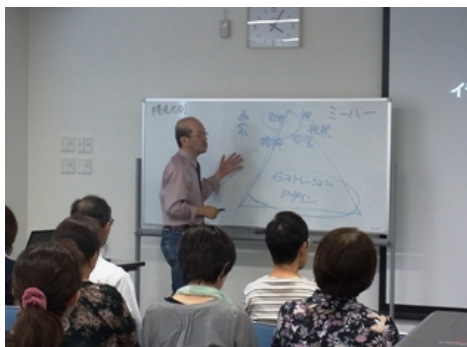
第3回 開催日：6月6日（木）

内 容：美術史勉強会・成果発表  
参加者数：13人



- 第4回 開催日：7月18日（木）  
内 容：「リサとガスパール&ペネロペ展」鑑賞、広報企画会議  
参加者数：12人
- 第5回 開催日：8月29日（木）  
内 容：館長アートトークチラシ封入作業、額掃除  
参加者数：11人
- 第6回 開催日：9月19日（木）  
内 容：「歌舞伎 | 変身」チラシデザイン検討  
参加者数：9人
- 第7回 開催日：10月17日（木）  
内 容：「歌舞伎 | 変身」鑑賞  
参加者数：6人
- 第8回 開催日：11月21日（木）  
内 容：美術勉強会計画  
参加者数：6人
- 第9回 開催日：12月12日（木）  
内 容：「アーティストシリーズVol.71 源馬菜穂展」と「収蔵作品展」鑑賞、美術勉強会成果発表  
参加者数：5人
- 第10回 開催日：2014年1月30日（木）  
内 容：「アーティストシリーズVol.73 打田宗平展」鑑賞  
参加者数：11人
- 第11回 開催日：2月20日（木）  
内 容：清須アートラボ受講生への活動紹介  
参加者数：6人
- 第12回 開催日：3月20日（木）  
内 容：美術勉強会成果発表  
参加者数：6人

#### (4) 館長アートトーク



開催風景

- 開催数：全12回（通年）
- 時間：午後4時～5時
- 定員：各回40人程度
- 対象：前日までに電話またはFAXでの申込者
- 場所：清須市立図書館研修室

昨年度に引き続き、当館館長高北幸矢が、月1回、アートにまつわるさまざまなエピソードをお話する会です。大学での指導経験やデザイナーとしての視点から、初心者にもアートを身近に楽しく感じるような解説を行いました。

第7回 「上村松園、上村松篁、上村淳之三代の日本画家。」

開催日：4月27日（土）

参加者数：40人

第8回 「フランク・ロイド・ライトの建築と日本。」

開催日：5月25日（土）

参加者数：26人

第9回 「横尾忠則のタブー。イラストレーターから画家への転身。」

開催日：6月29日（土）

参加者数：32人

第10回 「ピカソの人生とゲルニカ。」

開催日：7月27日（土）

参加者数：29人

- 第11回 「トリエンナーレとは何か？アートの源力として。」  
開催日：8月24日（土）  
参加者数：21人
- 第12回 「アンディ・ウォーホルとアメリカンポップアート。」  
開催日：9月28日（土）  
参加者数：22人
- 第13回 「赤瀬川原平とハイレッドセンター、赤瀬川原平の言葉の力。」  
開催日：10月26日（土）  
参加者数：36人
- 第14回 「横山大観、大観の富士と富士への道。」  
開催日：11月23日（土）  
参加者数：25人
- 第15回 「民俗学と日本の伝統パッケージデザイン。」  
開催日：12月21日（土）  
参加者数：37人
- 第16回 「円空の正体、祈りと創造。」  
開催日：2014年1月25日（土）  
参加者数：26人
- 第17回 「田中一村、孤高なる人生と奄美の風土。」  
開催日：2月22日（土）  
参加者数：32人
- 第18回 「イラストレーター宇野亜喜良、危うげで妖しげな少女たち。」  
開催日：3月22日（土）  
参加者数：27人

## (5) 博物館実習



実習風景

本年度は愛知学院大学1人、愛知県立大学1人、名古屋学芸大学2人、名古屋芸術大学1人の計5人の学生を受け入れました。

□実習期間：6月29日（土）～9月4日（水）のうち7日間

□対 象：・大学(短期大学を含む)もしくは大学院において、学芸員資格取得に必要な単位を取得した者もしくは取得見込みである者。

・大学(短期大学も含む)もしくは大学院に在籍し、美術関連科目(実技を含む)を履修している、または美術や博物館に関わる領域を研究対象としている者。

・将来、博物館や美術館に関連する施設などへの職に就くことを強く希望する者。

□場 所：清須市はるひ美術館、清須市春日公民館

□内 容：美術館概要、施設案内

・役割、運営方針

展覧会運営実務

・広報活動

・オープニングセレモニー補助

・展示解説

・受付、グッズ管理

・イベント運営補助

・収蔵作品調書作成

・展覧会企画・発表

## 5 美術資料等の収集

### 【収集方針】（購入・寄贈・寄託）

原則として以下の方針に従い、収集する。

- 1 当地にゆかりのある作家の美術資料等。
- 2 美術史上重要な美術資料等。
- 3 当館の展覧会で取り上げた美術資料等。
- 4 公募展（はるひ絵画トリエンナーレ）において高い評価を得た美術資料等。
- 5 その他、当館が必要と認めた美術資料等。

### 【収蔵作品内訳】

種別	油彩画	水彩画	日本画	アクリル画	木版画	その他
件数	101	4	29	12	7	18

### 【収蔵作品の貸出実績】

作品名：《Jiufeng》2002年

《Janakpur》2002年

作家名：森川美紀

貸出先：損保ジャパン東郷青児美術館

貸出期間：2013年11月7日（木）～2014年2月26日（水）

展覧会名：クインテットー五つ星の作家たち Quintet: Five-Star Artists

会期：2014年1月11日（土）～2月16日（日）

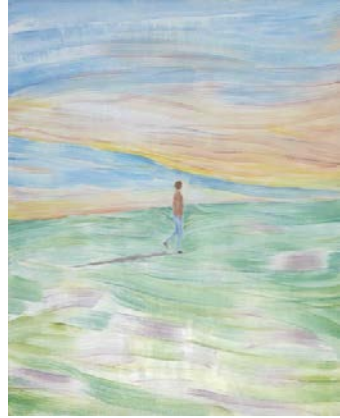
### 【寄贈】

今年度は下記の5点の寄贈を受けました。

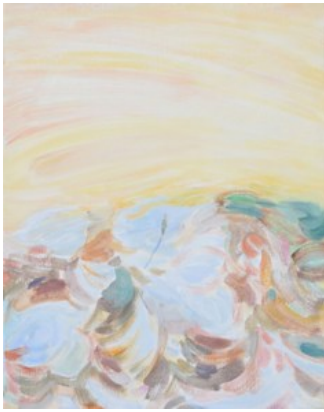
NO	作家名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1	源馬菜穂	flat	2009	油彩、キャンバス	112.0×172.0
2	源馬菜穂	contact	2010	油彩、キャンバス	162.0×130.0
3	源馬菜穂	untitled	2013	テンペラ、キャンバス	45.5×38.0
4	打田宗平	もう一つの神話	2010	油彩、キャンバス	112.0×145.0
5	室木絵里子	紙の風景 2011	2011	岩絵具、麻紙	97.0×145.5



《flat》源馬菜穂



《contact》源馬菜穂



《untitled》源馬菜穂



《紙の風景 2011》室木絵里子



《もう一つの神話》打田宗平

## 6 組織

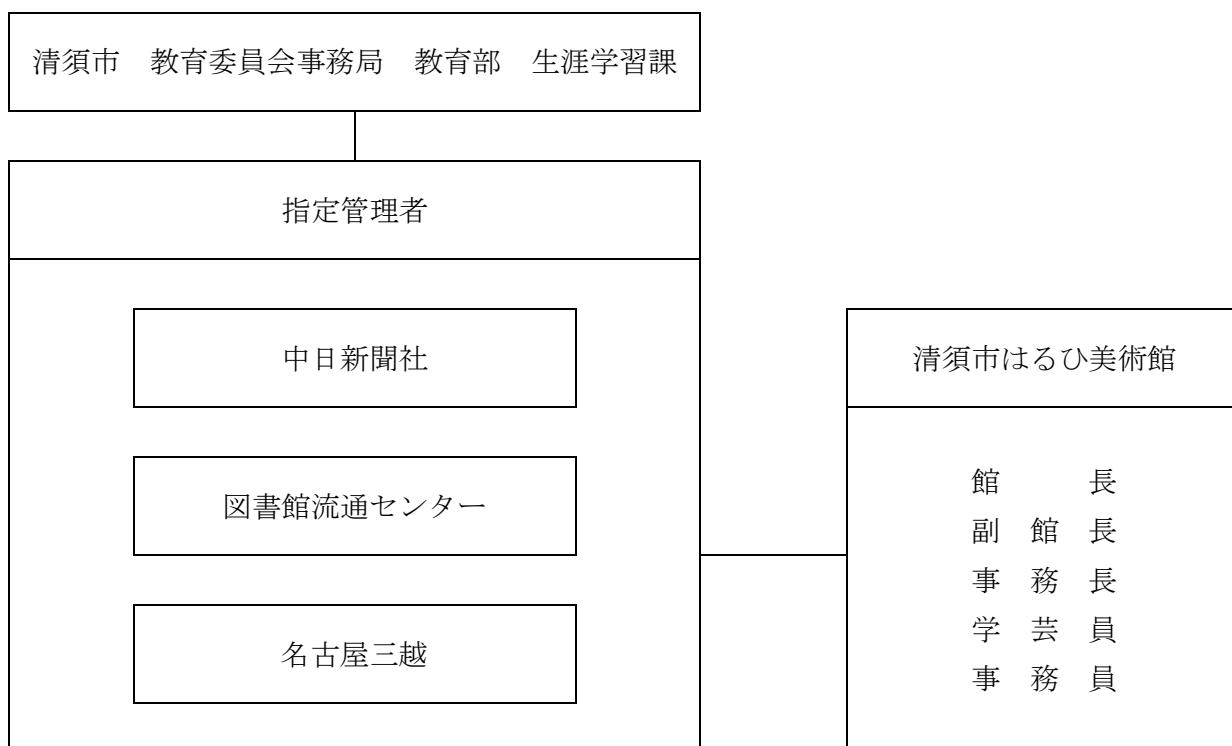
### 組 織

清須市はるひ美術館

所 在 地 愛知県清須市春日夢の森 1

T E L (052) 401-3881

F A X (052) 408-2791



館 長 高北 幸矢 (非常勤)

副 館 長 加藤 真也 (非常勤)

事 務 長 木村 松男

学 芸 員 野中祐美子 (西洋美術) 喜田早菜江 (西洋美術)

事 務 員 坂口 晶子

## 7 清須市夢広場はるひの設置及び管理に関する条例

平成23年9月30日

条例第18号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第1項の規定に基づき、清須市夢広場はるひ(以下「広場」という。)の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 市民の教養及び文化の発展並びに芸術文化の振興及び普及を図るため、次のとおり広場を設置する。

- (1) 名称 清須市夢広場はるひ
- (2) 位置 清須市春日夢の森1番地

2 広場は、清須市立図書館(図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づく図書館。以下「図書館」という。)、清須市はるひ美術館(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定に基づく美術館。以下「美術館」という。)及びはるひ夢の森公園(都市公園法(昭和31年法律第79号)の規定に基づく都市公園)とする。

(業務)

第3条 図書館及び美術館における業務は、次のとおりとする。

(1) 図書館

- ア 図書、記録その他の資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
- イ 読書会、研究会、展示会等の開催及び奨励に関すること。
- ウ 時事に関する情報及び参考資料の収集、紹介及び提供に関すること。

(2) 美術館

- ア 美術展及び絵画展の開催に関すること。
- イ 美術品及び美術に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- ウ 美術に関する調査研究に関すること。
- エ 美術に関する講演会、講習会、講座等の開催に関すること。
- オ 展示室及びオープン展示スペースの利用に関すること。

2 前項のほか、清須市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認める業務を行うものとする。

(利用の許可等)

第4条 美術館の展示室又はオープン展示スペースを利用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、美術館の管理上必要があるときは、前項の許可に条件を付けることができる。

(利用の不許可)



第5条 教育委員会は、前条第1項の許可の申請があった場合において、次の各号のいずれかに該当するときは、当該許可をしないことができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団の活動に利用されることにより当該暴力団の利益になると認めるとき。
- (3) 利用者が美術館の建物その他附属設備等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認めるとき。
- (4) 美術館の管理上支障があると認めるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が不相当と認めるとき。

(使用料)

第6条 第4条第1項の許可を受けた者は、別表第1に定める額の使用料を、当該施設の利用開始日までにおいて市長が指定する日までに納付しなければならない。

2 納付された使用料は、次に掲げる場合を除き、還付しない。

- (1) 第11条第3項の規定により許可を取り消し、又は利用の中止を命じたとき。
- (2) 市長が特に必要と認めたとき。

3 市長は、災害その他特別の理由がある者に対しては、使用料の全部若しくは一部を免除し、又はその徴収を延期することができる。

(観覧料)

第7条 美術館において教育委員会が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者(以下「観覧者」という。)は、別表第2に定める額の観覧料を納付しなければならない。ただし、中学生以下の者は、観覧料を無料とする。

2 納付された観覧料は、市長が特別の理由があると認める場合を除き、還付しない。

3 市長は、特別の理由があると認めるときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(模写、模造等又は撮影の許可及び手数料)

第8条 美術館が所蔵し、又は寄託を受けた美術品等について、学術研究等のため模写、模造等又は撮影をしようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める額の手数料を市長が指定する日までに納付しなければならない。

3 納付された手数料は、次に掲げる場合を除き、還付しない。

- (1) 第11条第3項の規定により、教育委員会が公共の福祉のために許可を取り消し、又は利用の中止を命じたとき。
- (2) 市長が特に必要と認めたとき。

4 市長は、災害その他特別の理由がある者に対しては、手数料の全部若しくは一部を免除し、又はその徴収を延期することができる。

(利用料金)

第9条 市長は、第12条の規定により教育委員会が指定する法人その他の団体(以下「指定管理者」という。)に、第4条第1項の施設の利用、第7条第1項の美術品等の観覧及び前条第1項の美術品等の模

写、模造等又は撮影に係る料金(以下「利用料金」という。)を当該指定管理者の収入として収受させることができる。

2 前項の場合においては、次に掲げる者は、当該利用料金を指定管理者に納付しなければならない。この場合においては、第6条第1項、第7条第1項又は前条第2項の規定は、適用しない。

- (1) 第4条第1項の許可を受けた者
- (2) 観覧者(第7条第1項ただし書に規定する者を除く。)
- (3) 前条第1項の許可を受けた者

3 利用料金の額は、別表第1に定める使用料の額、別表第2に定める観覧料の額又は別表第3に定める手数料の額に相当する額とする。

4 第6条第2項及び第3項の規定は第4条第1項の施設の利用に係る利用料金について、第7条第2項及び第3項の規定は同条第1項の美術品等の観覧に係る利用料金について、前条第3項及び第4項の規定は同条第1項の美術品等の模写、模造等又は撮影に係る利用料金について準用する。この場合において、第6条第2項第2号及び第3項、第7条第2項及び第3項並びに前条第3項第2号及び第4項中「市長」とあるのは、「指定管理者」と読み替えるものとする。

(利用者の義務)

第10条 図書館及び美術館の利用者は、図書館及び美術館の利用に際しては、この条例及びこの条例に基づく教育委員会規則の規定並びに第4条第2項の規定により許可に付けられた条件及び教育委員会の指示に従うとともに、図書館及び美術館の秩序を乱すような行為をしてはならない。

(利用の制限、許可の取消し及び利用の中止命令)

第11条 教育委員会は、図書館の利用者が前条の規定に違反したときは、図書館の利用を制限することができる。

2 教育委員会は、美術館の利用者が前条の規定に違反したときは、第4条第1項若しくは第8条第1項の許可を取り消し、又は利用の中止を命ずることができる。

3 教育委員会は、公共の福祉のためやむを得ない理由があるときは、第6条第1項若しくは第8条第1項の許可を取り消し、又は図書館若しくは美術館の利用の中止を命ずることができる。

(指定管理者による管理)

第12条 教育委員会は、法人その他の団体であつて教育委員会が指定するものに、広場(はるひ夢の森公園を除く。以下この条において同じ。)の管理に関する業務のうち、次に掲げる業務を行わせることができる。

- (1) 第4条第1項の規定により美術館の利用を許可すること。
- (2) 第4条第2項の規定により同条第1項の許可に条件を付けること。
- (3) 第5条の規定により美術館の利用を許可しないこと。
- (4) 第8条第1項の規定により美術品等の模写、模造等又は撮影を許可すること。
- (5) 第10条の規定により図書館及び美術館の利用に係る指示をすること。
- (6) 前条第1項の規定により図書館の利用を制限すること。

(7) 前条第2項の規定により第4条第1項又は第8条第1項の許可を取り消し、又は利用の中止を命ずること。

(8) その他広場を維持管理し、及び運営すること。

(損害賠償)

第13条 図書館及び美術館の利用者は、故意又は過失によって施設、附属設備、備品、資料、展示品等を損傷し、滅失し、又は亡失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長が損害を賠償させることが適当でないと認めたときは、この限りでない。

(委任)

第14条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。ただし、この条例(第12条を除く。)の規定中図書館に関する部分及び附則第3項の規定は同年7月7日から、第12条の規定は公布の日から施行する。

(清須市はるひ美術館の設置及び管理に関する条例の廃止)

2 清須市はるひ美術館の設置及び管理に関する条例(平成21年清須市条例第110号)は、廃止する。

(清須市情報公開条例の一部改正)

3 清須市情報公開条例(平成17年清須市条例第10号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

附 則 (平成24年3月30日 条例第1号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成24年7月1日から施行する。

別表第1(第6条、第9条関係)

(単位：円)

施設区分	単位	使用料の額
展示室1	1日につき	2,000
展示室2	1日につき	4,000
オープン展示スペース	1日につき	2,000

備考

1 特別の設備又は器具を設けて電力を使用する場合における使用料の額は、この表に定める額に市長(指定管理者がある場合にあつては、指定管理者)が定める額を加算した額とする。

2 入場料を徴収する場合における使用料の額は、この表に定める額に2を乗じて得た額を加算した額とする。

- 3 清須市に住所を有しない者又は住所を有しない営業所等が使用する場合における使用料の額は、この表に定める額に2を乗じて得た額を加算した額とする。

別表第2(第7条、第9条関係)

区分		観覧料の額(1人1回につき)	
		個人	団体(20人以上)
常設展示	一般	200円	160円
	障害者介添・付添者	一般の観覧料の半額	
特別展示		その都度市長(指定管理者がある場合にあつては、指定管理者)が定める額	

備考 この表において、次に掲げる用語の意義は、それぞれ次に定めるところによる。

- (1) 常設展示 美術館の平常時における美術品等の展示
- (2) 特別展示 美術館が特別に企画する美術品等の展示
- (3) 一般 満15歳(中学生を除く。)以上の者(次号に該当する者を除く。)
- (4) 障害者介添・付添者 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳又は療育手帳の交付を受けた者の介添えをし、又は付添いをする者

別表第3(第8条、第9条関係)

(単位：円)

区分			単位	手数料の額
模写、模造等			1点、1回につき	3,000
撮影	モノクローム	学術を目的とする場合	1点、1回につき	1,000
		出版等を目的とする場合	1点、1回につき	10,000
	カラー	学術を目的とする場合	1点、1回につき	2,000
		出版等を目的とする場合	1点、1回につき	15,000

## 8 清須市はるひ美術館管理規則

平成24年3月14日  
教育委員会規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、清須市夢広場はるひの設置及び管理に関する条例(平成23年清須市条例第18号。以下「条例」という。)第14条の規定に基づき、清須市はるひ美術館(以下「美術館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(当該月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に該当する場合は、その翌日以降の最初の休日でない日)
  - (2) 12月29日から翌年1月3日まで
- 2 清須市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日を変更し、又は休館日を設けることができる。
- 3 条例第12条の規定により教育委員会が指定する法人その他の団体(以下「指定管理者」という。)は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を受けて、臨時に第1項の休館日を変更し、又は休館日を設けることができる。

(開館時間等)

第3条 美術館の開館時間は、午前10時から午後7時までとする。ただし、美術館が主催して展示する美術品等を観覧するために美術館に入館する者(以下「入館者」という。)が美術館に入館できる時間(以下「入館時間」という。)は、午前10時から午後6時30分までとする。

- 2 教育委員会(指定管理者がある場合にあつては、指定管理者。第18条及び第20条を除き、以下同じ。)は、必要があると認めるときは、臨時に前項の開館時間又は入館時間を変更することができる。

(入館の禁止等)

第4条 教育委員会は、めいてい者その他美術館の秩序を乱し、若しくは乱すおそれがある者又は美術館の施設に損害を加え、若しくは加えるおそれのある者に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

(利用期間)

第5条 美術館の利用期間は、6日以内とする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、利用期間を変更することができる。

(利用の許可)

第6条 条例第4条の許可を受けようとする者は、美術館利用許可申請書(第1号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の規定により利用許可申請書を提出した者について利用を許可したときは、美術館利用許可書(第2号様式。以下「利用許可書」という。)を交付するものとする。

3 前2項の規定により利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)の美術館を利用する権利は、他人に譲渡し、又は転貸することができない。

(利用の変更の許可)

第7条 利用者は、利用期間その他利用許可書に記載された事項を変更しようとするときは、美術館利用変更許可申請書(第3号様式)に利用許可書を添えて教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

(利用の取消しの承認)

第8条 利用者は、美術館の利用の取消しをしようとするときは、美術館利用取消承認申請書(第4号様式)に利用許可書を添えて、速やかに教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。

(使用料の減免)

第9条 条例第6条第3項の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 本市の執行機関が利用するとき。

(2) 前号に掲げるもののほか、市長(指定管理者がある場合にあつては、指定管理者。第19条を除き、以下同じ。)が特別の理由があると認めるとき。

2 使用料の減免の額は、次のとおりとする。

(1) 前項第1号の場合 全額

(2) 前項第2号の場合 その都度市長が定める額

(利用等の打合せ)

第10条 利用者は、美術館の使用方法等について、事前に美術館の職員と打合せをしなければならない。

(観覧料の減免)

第11条 条例第7条第3項の規定により観覧料を減額し、又は免除することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 小学校若しくは中学校又はこれらの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として児童又は生徒の引率者が観覧するとき。

(2) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)に規定する身体障害者手帳、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)に規定する精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者援護法(昭和38年法律第168号)に規定する戦傷病者手帳、原子爆弾被害者に対する援護に関する法律(平成6年法律第117号)に規定する被爆者健康手帳又は「療育手帳について」(昭和48年9月27日厚生省発見第156号)において定められた療育手帳制度要綱による療育手帳(以下「身体障害者手帳等」という。)の交付を受けている者が観覧するとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が特別の理由があると認めるとき。

2 観覧料の減免の額は、次のとおりとする。

(1) 前項第1号及び第2号の場合 全額

(2) 前項第3号の場合 その都度市長が定める額

(使用料等の減免申請)

第12条 使用料又は観覧料(以下「使用料等」という。)の減免を受けようとする者は、美術館使用料等減免申請書(第5号様式)を市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の規定により使用料等減免申請書を提出した者について使用料等の減免を承認したときは、美術館使用料等減免承認書(第6号様式)を交付するものとする。

3 前条第1項第2号に規定する者については、身体障害者手帳等の提示をもって前号の規定による承認を受けたものとみなす。

(模写、模造等又は撮影の許可)

第13条 条例第8条第1項の許可を受けようとする者は、美術館美術品等模写等許可申請書(第7号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定により美術品等模写等許可申請書を提出した者について模写、模造等又は撮影を許可したときは、美術館美術品等模写等許可書(第8号様式)を交付するものとする。

(遵守事項)

第14条 利用者及び入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 美術館の建物又は敷地内において物品等を販売しないこと。
- (2) 利用者が、利用中の秩序を維持するため必要な整理人を置くこと。
- (3) 美術館に所定の収容人員を超え入場させないこと。
- (4) 許可を受けないで美術館を利用しないこと。
- (5) みだりに火気を使用し、又は危険を引き起こす行為をしないこと。
- (6) 許可を受けないで美術品等の模写等をしないこと。
- (7) 許可を受けないで広告類を掲示し、又はまき散らす行為をしないこと。
- (8) 美術館の建物その他の工作物を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をしないこと。
- (9) 美術館内において、飲食又は喫煙をしないこと。
- (10) 騒音を発し、暴力を用いるなど他人の迷惑となる行為をしないこと。
- (11) 美術館内の清潔保持に努め、利用者においては、使用後に清掃を行うこと。
- (12) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に必要な指示に反する行為をしないこと。

(指示及び調査)

第15条 教育委員会は、美術館の秩序の維持及び施設の管理上必要があると認めるときは、利用者及び入館者に対し、指示をし、又は美術館の施設に職員を立ち入らせ、状況を調査させることができる。

(届出義務)

第16条 利用者は、美術館の利用を終わり、又は利用を中止したときは、速やかに利用した設備を原状に回復し、その旨を教育委員会に届け出なければならない。

2 利用者及び入館者は、美術館の施設、美術品等を損傷し、又は滅失したときは、速やかに教育委員会に届け出なければならない。

(優待券等)

第17条 市長は、必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(美術品等の館外貸出し)

第 18 条 美術館に収蔵している美術品等の館外貸出しは、行わないものとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、この限りでない。

2 前項の館外貸出しを受けようとする者は、美術館美術品等館外貸出許可申請書(第 9 号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定により美術品等館外貸出許可申請書を提出した者について利用を許可したときは、美術館美術品等館外貸出許可書(第 10 号様式)を交付するものとする。

(美術品等の寄贈等)

第 19 条 市長は、美術品等の寄贈及び寄託(以下「寄贈等」という。)を受けすることができる。

2 美術品等を寄贈等をしようとする者は、美術館美術品等寄贈等申請書(第 11 号様式)を市長に提出しなければならない。

3 市長は、前項の規定による申請を受理したときは、有識者等の意見を聴かなければならない。

4 市長は、第 2 項の規定により美術品等寄贈等申請書を提出した者について寄贈等を承認したときは、美術館美術品等受領・受託書(第 12 号様式)を交付するものとする。

5 天災その他避けることのできない理由により、寄託された美術品等が損傷し、又は滅失したときは、市長はその責を負わない。

(雑則)

第 20 条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

1 この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

2 清須市はるひ美術館の設置及び管理に関する条例施行規則(平成 21 年清須市規則第 9 号)は、廃止する。

3 この規則の施行の際、現に前項の規定による廃止前の清須市はるひ美術館の設置及び管理に関する条例施行規則の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされたものとみなす。



## 9 清須絵画トリエンナーレ実行委員会設置要綱

(設置)

第1条 市民の文化意識の向上及び振興並びに次代を担う有為人材の育成を図るため、清須市教育委員会(以下「教育委員会」という。)に、清須絵画トリエンナーレ実行委員会(以下「実行委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 実行委員会は、次に掲げる事務を行うものとする。

- (1) 清須絵画トリエンナーレの開催計画に関すること。
- (2) 清須市美術振興基金の処分に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、清須絵画トリエンナーレ事業に関すること。

(組織)

第3条 実行委員会は、委員10名以内で組織する。

2 委員は、次に掲げるものをもって構成し、教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

3 委員の任期は、委嘱の日から1年とする。

4 委員は、再任を妨げない。

5 委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 実行委員会には、委員長1人、副委員長1人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、会務を総理し、実行委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 実行委員会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。ただし、最初に行われる会議は、教育委員会教育長が招集する。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

4 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議の出席を求め意見を求めることができる。

(庶務)

第6条 実行委員会の庶務は、教育委員会事務局教育部生涯学習課において処理する。

(雑則)

第7条 この告示に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この告示は、平成22年7月20日から施行する。

清須市はるひ美術館年報 2013 年度版

発 行 日 平成 26 年 5 月 1 日発行

編集・発行 清須市はるひ美術館

〒452-0961 愛知県清須市春日夢の森 1 番地

TEL 052 - 401 - 3881

URL <http://www.museum-kiyosu.jp>



K I Y O S U  
C I T Y  
H A R U H I  
A R T  
M U S E U M